

VIDEO SWITCHER V-1-4K

リファレンス・マニュアル



目次

各部の名称とはたらき	4
トップ・パネル	4
リア・パネル	6
サイド・パネル	7
マルチビュー表示	8

基本操作	9
電源を入れる／切る	9
メニューの操作	9
USB メモリーを使う	10

映像の入出力設定	11
映像の入出力フォーマットを設定する	11
システム・フォーマットを設定する	11
INPUT 1 ～ 5 端子の入力フォーマットを設定する	11
映像ソースを割り当てる	12
OUTPUT 3 ～ 4 端子から、ダウン・コンバートした映像を出力する	12
入力映像を調整する	13
OUTPUT 3、4 端子に映像バスを割り当てる	13
著作権保護 (HDCP) された映像を入力する	14

映像の操作	15
映像を切り替える	15
操作モードを設定する	15
PGM/PST モードで切り替える	15
A/B モードで切り替える	16
ミックス／ワイプのパターンを変更する	17
[CUT] [AUTO] ボタンの機能を変更する	17
自動的に映像を切り替える (オート・スイッチング)	18
オート・スイッチング機能をオン／オフする	18
オート・スイッチングの動作を設定する	18
静止画を読み込む	19
USB メモリーから静止画を読み込む	19
入力映像から静止画をキャプチャーする	20
読み込んだ静止画を出力する	21
静止画を削除する	21
最終出力映像をフェードイン／アウトする	21
映像を切り出して使う (ROI)	22

映像合成の操作	23
スプリットで映像を合成する	23
画面レイアウトを設定する	23
スプリットで合成する	23
ピクチャーインピクチャー (PinP) で映像を合成する	24
子画面の詳細を設定する	25
子画面をキー合成する	25
ダウンストリーム・キーヤー (DSK) で映像を合成する	26
テロップや画像を合成する	26
Graphics Presenter のコンテンツを合成する (Roland Fill+Key モード)	27

音声の操作	28
[AUDIO IN] つまみに音声ソースを割り当てる	28
[USB OUT] [MAIN] つまみに音声ソースを割り当てる	28
入力ゲイン (感度) を調節する	28
音量バランスを調節する	29
入力音声にエフェクトをかける	29
映像と音声のズレを補正する (ディレイ)	30
出力音声にエフェクトをかける	30
映像の切り替えに音声の出力を連動させる (オーディオ・フォロー)	31
オーディオ・フォローの対象を追加する	31
DSK 映像出力に音声を連動させる	31
音量を自動的に制御する (オート・ミキシング)	32
特定の音声だけ消音する (ミュート)	32
入力音声のミュート	32
出力音声のミュート	32
特定の音声を確認する (ソロ)	33
入力音声にソロ機能を使う	33
出力音声にソロ機能を使う	33
AUX バスの音声を出力する	33
AUX バスを割り当てる	33
AUX バスへ音声を送る	34

ストリーミング用の映像／音声をパソコンに出力する	35
パソコンに映像／音声を出力する	35
ループバック機能を使う	35
パソコンで配信する	35
パソコンで録画する	35

ASSIGNABLE PADS を使う	36
ASSIGNABLE PADS に機能を割り当てる	36
ASSIGNABLE PADS に割り当てた機能を使う	37
ASSIGNABLE PADS に割り当てた機能をコピーする／入れ替える	37
工場出荷時の設定	37

その他の機能	38
設定を保存する／呼び出す (メモリー)	38
メモリーに保存する	38
メモリーを呼び出す	38
メモリーを初期化する	39
メモリーの名前を変更する	39
USB メモリーにメモリーを保存する	40
本体の設定をバックアップ／リストアする	42
バックアップする	42
リストア (復元) する	43
PTZ カメラをリモート・コントロールする	44
カメラのネットワーク設定をする	44
カメラの設定をプリセットに登録する	44
プリセットを呼び出す	45
スマート・タリーを使う	46
無線 LAN 親機を介して接続する	46
スマート・タリーを起動する	46
誤操作を防止する (パネル・ロック)	47
設定を工場出荷時の状態に戻す (ファクトリー・リセット)	47
V-1-4K のリモート・コントロール	48

メニュー一覧	49
1: VIDEO ASSIGN	49
2: VIDEO INPUT	50
3: VIDEO OUTPUT	50
4: MIX/WIPE	51
5: PinP&KEY/SPLIT	51
6: DSK	53
7: ROI	53
8: AUDIO KNOB ASSIGN	53
9: AUDIO INPUT	54
10: AUDIO OUTPUT	55
11: AUDIO FOLLOW	58
12: AUDIO AUTO MIXING	58
13: STILL IMAGE	58
14: MEMORY	59
15: ASSIGNABLE PADS	60
16: Roland FILL + KEY	61
17: AUTO SWITCHING	61
18: NETWORK	61
19: CAMERA CONTROL	62
20: USB FLASH DRIVE	62
21: SYSTEM	63
資料	65
主な仕様	65
外形寸法図	67
ビデオ・ブロック・ダイアグラム	68
オーディオ・ブロック・ダイアグラム	69

※ 本書では Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

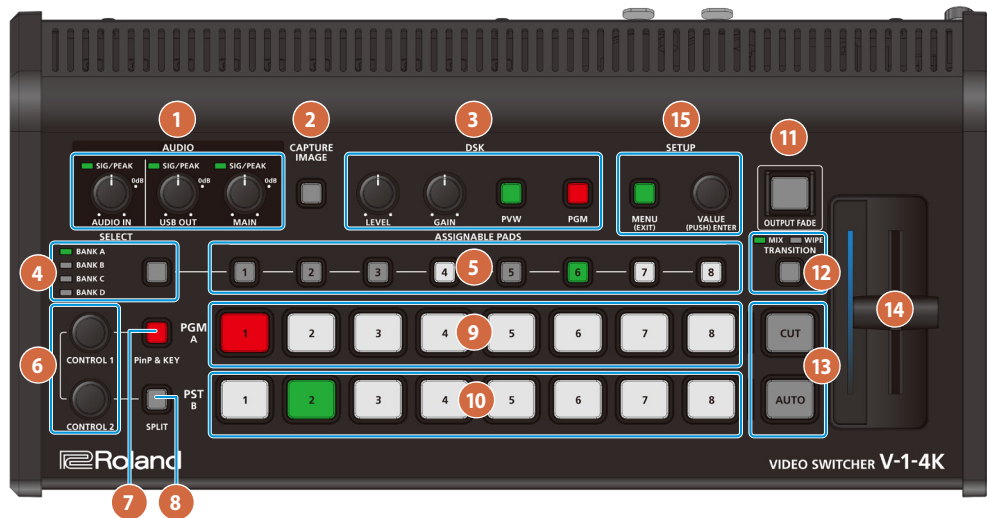
※ Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

※ 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル

※ パネルにある吸気口／排気口を塞がないでください。吸気口／排気口を塞いでしまうと本体内部の温度が上昇し、熱によって故障する恐れがあります。



1 AUDIO

SIG/PEAK インジケーター (AUDIO IN)

AUDIO IN 端子のオーディオ入力レベルを表示します。

[AUDIO IN] つまみ

AUDIO IN 端子のオーディオ入力レベルを調節します。

SIG/PEAK インジケーター (USB OUT)

USB STREAM 端子のオーディオ出力レベルを表示します。

レベルが -50dB 以上になると緑点灯します。過大出力 (0dB 以上) になると赤点灯します。

[USB OUT] つまみ

USB STREAM 端子からのオーディオ出力レベルを調節します。

SIG/PEAK インジケーター (MAIN)

MAIN バスのレベルを表示します。

レベルが -50dB 以上になると緑点灯します。過大出力 (0dB 以上) になると赤点灯します。

[MAIN] つまみ

オーディオ出力全体のレベルを調節します。

メモ

AUDIO の各つまみで調節する音声バスや、各インジケーターが表示する音声バスを変更することができます (P.28)。

2 [CAPTURE IMAGE] ボタン

静止画キャプチャー・モードをオン／オフします。

3 DSK

ダウンストリーム・キーヤー (DSK) による映像合成をします。

[LEVEL] つまみ

キーの抜け具合 (透過度) を調節します。

[GAIN] つまみ

キーのエッジのぼかし具合 (半透過領域) を調節します。

[PVW] ボタン

DSK 合成結果のプレビュー出力をオン／オフします。

[PGM] ボタン

DSK 合成をオン／オフします。

4 [SELECT] ボタン

5 ASSIGNABLE PADS (アサインابل・パッド) [1] ~ [8] のバンクを切り替えます。

ボタンを押すたびに、バンク A ~ D が切り替わります。

5 ASSIGNABLE PADS (アサインابل・パッド) [1] ~ [8]

パッドを押すと、割り当てられている機能を実行します。

アサインابل・パッドでは、8 つのパッド×4バンク (BANK A ~ D) に機能を割り当てることができます。

パッドに割り当てる機能は、メニューで設定します (P.36)。

6 [CONTROL 1] [CONTROL 2] つまみ

映像合成の設定を調整します。

[PinP & KEY] ボタン点灯

つまみ	説明
[CONTROL 1]	子画面の水平方向の位置を調節します。 押しながら回す： 子画面のサイズを調節します。
[CONTROL 2]	子画面の垂直方向の位置を調節します。 押しながら回す： 子画面映像の拡大率を調節します。

[SPLIT] ボタン点灯

つまみ	説明
[CONTROL 1]	左側／上側に配置された映像の水平／垂直方向の位置を調節します。 押しながら回す： 境界線の位置を調節します。
[CONTROL 2]	右側／下側に配置された映像の水平／垂直方向の位置を調節します。 押しながら回す： 境界線の位置を調節します。

7 [PinP & KEY] ボタン

ピクチャーインピクチャー（PinP）による映像合成をオン／オフします。

8 [SPLIT] ボタン

スプリットによる映像合成をオン／オフします。

9 PGM / A クロスポイント [1] ～ [8] ボタン

PGM/A バスに入力する映像を選びます。選ばれたボタンは、赤点灯します。

10 PST / B クロスポイント [1] ～ [8] ボタン

PST/B バスに入力する映像を選びます。選ばれたボタンは、緑点灯します。

11 [OUTPUT FADE] ボタン

最終出力映像と音声をフェードイン／アウトします。

点灯	フェードアウト完了
点滅	フェードイン／アウト中
消灯	通常の出力

12 [TRANSITION] ボタン

映像切り替え効果（ミックス、ワイプ）を選びます。

MIX または WIPE インジケータが点灯し、選択中であることを示します。

13 [CUT] [AUTO] ボタン

PGM/A バスと PST/B バスの映像を自動で切り替えて、最終出力します。

ボタン	説明
[CUT]	瞬時に映像が切り替わります。
[AUTO]	切り替え効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。

14 ビデオ・フェーダー

PGM/A バスと PST/B バスに入力されている映像を手動で切り替えて、最終出力します。

トランジション・インジケータ

インジケータが点灯して、ビデオ・フェーダーの位置を示します。

ビデオ・フェーダーを完全に倒し切ると、一番上または一番下のトランジション・インジケータのみが点灯します。

15 SETUP**[MENU] ボタン**

メニューの表示／非表示を切り替えます。

メニューの下位階層が表示されているときは [EXIT] ボタンとして機能し、メニューの階層を抜けたり、操作をキャンセルしたりします。

[VALUE] つまみ

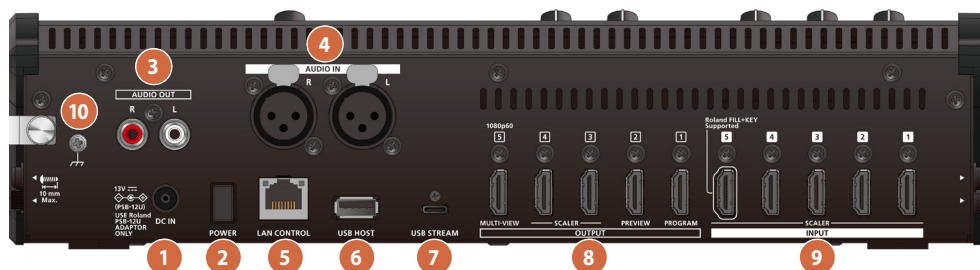
メニュー項目を選んだり、設定値を変更したりします。

押すと、選んだメニュー項目や変更した設定値を決定します。

リア・パネル

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

※ パネルにある吸気口／排気口を塞がないでください。吸気口／排気口を塞いでしまうと本体内部の温度が上昇し、熱によって故障する恐れがあります。



1 DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。
ケーブル・ホルダーに AC アダプターのコードをはさんで、固定することができます。

- ① 取り付けネジを緩め、ケーブル・ホルダーを取りはずす。
- ② ケーブル・ホルダーに AC アダプターのコードをはさみ、取り付けネジで固定する。



2 [POWER] ボタン

電源をオン／オフします。

3 AUDIO OUT L、R 端子

音声を出力します。
オーディオ・レコーダーやアンプ、スピーカーなどを接続します。

メモ

音声バス（MAIN バス、AUX 1 バス、AUX 2 バス）の割り当てを変更することができます（P.33）。

4 AUDIO IN L、R 端子（XLR）

音声を入力します。
オーディオ・ミキサーなどのオーディオ機器を接続します。

※ AUDIO IN L、R 端子のピン配置



5 LAN CONTROL 端子

- 接続したパソコンから、ターミナル・ソフトウェアなどを使って V-1-4K をリモート・コントロールします。
- 接続したパソコンや iPad から、専用ソフトウェアを使って V-1-4K をリモート・コントロールします。
- 接続したカメラを、V-1-4K からリモート・コントロールします。
- iOS や Android デバイスにタリーを表示します（スマート・タリー機能）。

6 USB HOST 端子

USB メモリーを接続して、本体の設定を USB メモリーにバックアップしたり、USB メモリーから静止画を読み込んだりします。

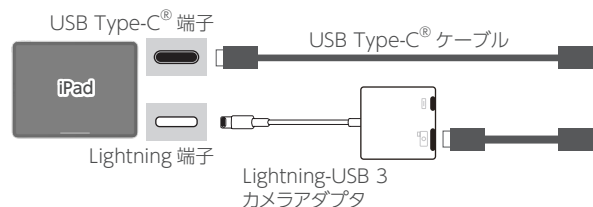
注意

USB メモリーへのアクセス中は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

7 USB STREAM 端子（USB Type-C®）

- 映像と音声をパソコンに出力します。また、パソコンで再生した音声を V-1-4K に入力します。
- 接続したパソコンや iPad から、専用ソフトウェアを使って V-1-4K をリモート・コントロールします。

iPad を接続する場合



注意

- HD や 4K の映像を USB 出力する場合は、USB3.0 に対応した市販の USB ケーブルを使って、パソコンの USB3.0 端子に接続してください。
- 延長ケーブルや USB ハブを使って接続すると、パソコンが V-1-4K を認識しない場合があります。
- 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

8 OUTPUT 1 ～ 5 端子

映像を出力します。接続する機器に合わせて、端子を選びます。

端子		説明
1	PROGRAM	最終出力映像
2	PREVIEW	プレビュー出力映像
3	SCALER	以下のいずれかの映像を出力します。
4		- PROGRAM (最終出力映像) - PREVIEW (プレビュー出力映像) - クロスポイント [1] ～ [8] ボタンに割り当てられた入力映像
5	MULTI-VIEW	マルチビューの映像として、入出力映像の一覧（最終出力、プレビュー出力、入力チャンネル 1 ～ 5）とメニューが出力されます。 ※ 出力フォーマットは、1080p60 固定です。

メモ

- OUTPUT 1 ～ 5 端子は、2 チャンネルのエンベデッド・オーディオに対応しています。入力音声を HDMI 映像に重ねて出力することができます。
- メニュー画面では、OUTPUT 1 ～ 5 端子は「HDMI OUT 1 ～ 5」と表示されます。

9 INPUT 1 ～ 5 端子 (SCALER)

映像を入力します。接続する機器に合わせて、端子を選びます。システム・フォーマットに関係なく、個別に入力フォーマットを設定することができます。

メモ

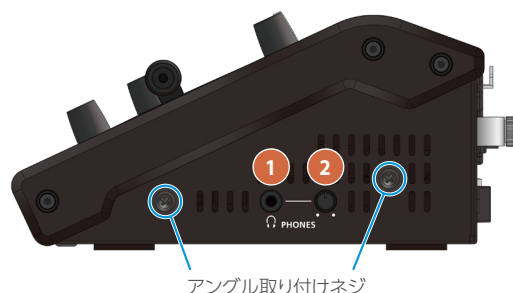
- INPUT 1 ～ 5 端子は、2 チャンネルのエンベデッド・オーディオに対応しています。入力音声を HDMI 映像に重ねることができます。
- INPUT 5 端子は、アプリ「Roland Graphics Presenter」の接続に対応しています。詳しくは P.27 をご覧ください。
- メニュー画面では、INPUT 1 ～ 5 端子は「HDMI IN 1 ～ 5」と表示されます。

10 接地端子

外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

サイド・パネル

※ パネルにある吸気口／排気口を塞がないでください。吸気口／排気口を塞いでしまうと本体内部の温度が上昇し、熱によって故障する恐れがあります。



1 PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

2 [PHONES] つまみ

ヘッドホンの音量を調節します。

アングル取り付けネジ

アングル取り付けネジを使って、サイド・パネルにアングルを取り付けることができます。

注意

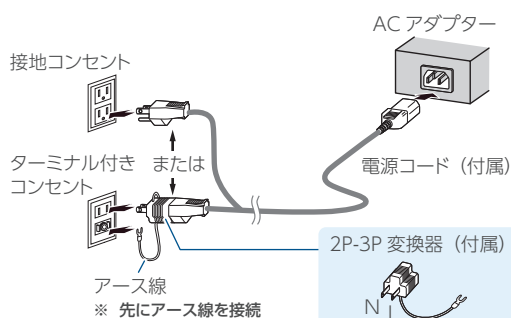
- アングルは、用途に合わせてお客様に自作していただくことになります。アングル製作時は、「外形寸法図」(P.67) に記載された数値を参考にしてください。
- 市販のネジ (M4 × 10mm) を使って、アングルを取り付けることもできます。
※ 10mm を超える長いネジは使用しないでください。本体内部の部品の損傷や故障の原因になります。
- 取り付けるときは、指などをはさまないようにご注意ください。

電源コードの接続



感電を防ぐために付属の電源コードを使用し、アースを確実に取り付けてください。

付属の電源コードには、感電と機器の損傷を防ぐためにアース用電極端子を加えた 3 端子のプラグが付いています。



コンセントが接地コンセント（端子穴が 3 個）の場合

そのままコンセントにプラグを差し込んでください。

コンセントがアースターミナル付きコンセント（端子穴が 2 個）の場合

プラグに 2P-3P 変換器を付け、アース接続後コンセントに差し込みます。



警告

アースは必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アースをはずすときは必ず、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。

コンセントにアース端子がない場合は、電気工事に接地工事を依頼してください。

マルチビュー表示

マルチビューは、OUTPUT 5 (MULTI-VIEW) 端子に接続したディスプレイに表示されます。

最終出力映像、プレビュー出力映像、クロスポイント [1] ～ [8] ボタンに割り当てられている映像を分割表示します。



1 PVW (プレビュー) セクション

プレビュー出力映像（次に出力される映像）を表示します。

※ フェードイン／アウトの効果（P.21）は、反映されません。

2 PGM (プログラム) セクション

最終出力映像を表示します。

3 クロスポイント [1] ～ [8] ボタンの映像

各クロスポイント・ボタンに割り当てられている映像を表示します。

最終出力映像とプレビュー出力映像には、タリー枠（赤、緑）が表示されます。

メモ

- マルチビューの上側に表示する映像を、左右それぞれ変更することができます。
[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [MULTI-VIEW LAYOUT] の [LEFT] [RIGHT] で設定します。

• モニターの表示内容

タリー枠やラベルなどの表示／非表示を個別に設定することができます。

[MENU] ボタン → [SYSTEM] → 以下のメニュー項目を設定します。

メニュー項目	説明
TALLY FRAME	タリー枠
PREVIEW LABEL	ラベル

- ラベル名やラベルのサイズを変更することができます。
[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [PREVIEW LABEL] → [LABEL EDIT] で編集します。

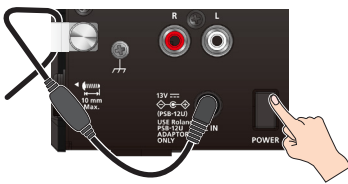
基本操作

電源を入れる／切る

- ※ 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。
- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
- ※ 本機は1か月を超える長期間の連続稼働をサポートしていません。長期間お使いになる場合は、定期的に電源の入切をしてください。

電源を入れる

1. すべての機器の電源がオフになっていることを確認する。
2. V-1-4K の [POWER] ボタンをオンにして、電源を入れる。



3. ソース機器の電源を入れる。
ビデオ・カメラなど、V-1-4K の入力端子に接続したソース機器の電源を入れます。
4. 出力機器の電源を入れる。
プロジェクターなど、V-1-4K の出力端子に接続した機器の電源を入れます。

電源を切る

1. 出力機器 → ソース機器の順に電源を切る。
2. V-1-4K の [POWER] ボタンをオフにする。

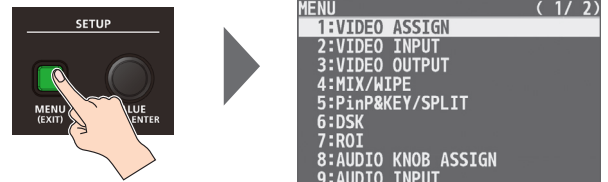
注意

マルチビューのメニュー表示部に「PLEASE WAIT」などのメッセージが表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。設定内容の保存に失敗する恐れがあります。

メニューの操作

メニューを表示して、映像／音声に関する設定や本体の設定をします。メニューは、OUTPUT 5 (MULTI-VIEW) 端子に接続したディスプレイに表示されます。

1. [MENU] ボタンを押して、メニューを表示させる。



[MENU] ボタンが点灯し、メニューのカテゴリーが表示されます。

2. [VALUE] つまみを回してカテゴリーを選び、[VALUE] つまみを押して決定する。



選んだカテゴリーのメニュー項目が表示されます。

3. [VALUE] つまみを回してメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押して決定する。

カーソルが設定値に移動します。

- メニュー階層が深い場合は、手順3を繰り返します。
- [MENU] (EXIT) ボタンを押すと、1つ上の階層に戻ります。

4. [VALUE] つまみを回して、設定値を変更する。

- [VALUE] つまみを押しながら回すと、設定値を大きく変えることができます。
- [VALUE] つまみを長押しすると、設定中のメニュー項目が初期値に戻ります。

5. [VALUE] つまみを押して、設定を確定させる。

カーソルがメニュー項目に戻ります。

6. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

USB メモリーを使う

USB メモリーを使うと、以下のことができます。

- 静止画の読み込み
- 設定ファイルの読み込み／書き出し

USB メモリーをフォーマットする

USB メモリーを V-1-4K で使うときは、最初に USB メモリーをフォーマットしてください。

注意

- 他の機器でフォーマットした USB メモリーは、V-1-4K では正常に使用できないことがあります。必ず V-1-4K でフォーマットしてください。
- フォーマットすると、USB メモリーに保存されているデータ（録画、録音、静止画データなど）はすべて消去されます。必要なデータがある場合は、あらかじめパソコンなどにバックアップしてから、フォーマットしてください。
- 「PLEASE WAIT」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

1. USB HOST 端子に USB メモリーを接続する。



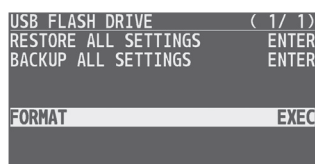
リア・パネル



※ USB メモリーは、挿入方向や表裏に注意して、確実に奥まで差し込んでください。また、無理な挿入はしないでください。

2. [MENU] ボタン → [USB FLASH DRIVE] → [FORMAT] を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。

3. [YES] を選び、[VALUE] つまみを押す。

USB メモリーがフォーマットされます。

映像の入出力設定

映像の入出力フォーマットを設定する

接続する機器に合わせて、入出力フォーマットを設定します。

システム・フォーマットを設定する

V-1-4K では、システム・フォーマットによって、出力フォーマットが決定されます。接続する機器に合わせて、システム・フォーマットを設定します。

INPUT 1 ～ 5 端子の入力フォーマットは、システム・フォーマットに関係なく、個別に設定することができます。

詳しくは、このページの「INPUT 1 ～ 5 端子の入力フォーマットを設定する」をご覧ください。

システム・フォーマット	入力フォーマット INPUT 1～5 端子	出力フォーマット	
		OUTPUT 1、2 端子	OUTPUT 3、4 端子 USB STREAM 端子
2160p	1080p、1080i、 2160p	2160p	1080p、2160p
1080p		1080p	1080p

※ OUTPUT 5 (MULTI-VIEW) 端子の出力フォーマットは、1080p60 固定です。

※ USB STREAM 端子のフォーマットは、映像を入力するパソコンで設定します。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [SYSTEM FORMAT] → [SYSTEM FORMAT] を選び、[VALUE] つまみを押す。

OUTPUT FORMAT	(1 / 1)
SYSTEM FORMAT	2160p
FRAME RATE	59.94Hz
COLOR GAMUT	REC.709
DYNAMIC RANGE	SDR

2. [VALUE] つまみで「2160p」または「1080p」を選び、[VALUE] つまみを押す。

※ 設定の変更は、[VALUE] つまみを押して確定するまで反映されません。

3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

内部処理について

V-1-4K の内部処理は、プログレッシブです。インターレースで入力された映像は、自動的にプログレッシブに変換されます。

このとき、映像がギザギザになったように見えたり、PinP の子画面やマルチビューの映像がぶれたりすることがあります。

これはプログレッシブ変換によるもので、故障ではありません。

フレーム・レートについて

V-1-4K のフレーム・レートは、[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [SYSTEM FORMAT] → [FRAME RATE] で設定します。

カラー・ガマット、ダイナミック・レンジについて

V-1-4K のカラー・ガマット、ダイナミック・レンジは、[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [SYSTEM FORMAT] → [COLOR GAMUT]、[DYNAMIC RANGE] で設定します。ソース機器に合わせて設定してください。

INPUT 1 ～ 5 端子の入力フォーマットを設定する

工場出荷時、INPUT 1 ～ 5 端子の EDID 情報は、「INTERNAL」(すべての入力可能フォーマットの EDID 情報が送信される設定)になっています。

任意の入力フォーマットを指定したい場合は、入力する映像信号に合わせて、送信する EDID 情報の設定を変更します。

EDID とは？

EDID とは、V-1-4K をソース機器に接続したときに、V-1-4K からソース機器に送信されるデータです。EDID には、V-1-4K に入力できるフォーマット(解像度、カラー・スペース、色深度)や音声情報などのデータが記録されています。

ソース機器は、受信した EDID 情報を元に V-1-4K に最適な映像を出力します。

1. [MENU] ボタン → [VIDEO INPUT] → [HDMI IN 1]～[HDMI IN 5] → [EDID]を選び、[VALUE] つまみを押す。

HDMI IN 1	(1 / 1)
INPUT STATUS	ENTER
DYNAMIC RANGE	AUTO
EDID	INTERNAL
ZOOM	100.0%
SCALING TYPE	FULL
-MANUAL SIZE H	---
-MANUAL SIZE V	---
POSITION H	0
POSITION V	0

2. [VALUE] つまみで入力フォーマット(送信する EDID 情報)を選び、[VALUE] つまみを押す。

※ 設定の変更は、[VALUE] つまみを押して確定するまで反映されません。

設定値	
INTERNAL (すべての入力可能なフォーマットの EDID 情報を送信します。)	
1080i50	2160p(UHD)23.98/24
1080i59.94/60	2160p(UHD)25
1080p23.98/24	2160p(UHD)29.97/30
1080p25	2160p(UHD)50
1080p29.97/30	2160p(UHD)59.94/60
1080p50	2160p(UHD)50(YUV420)
1080p59.94/60	

3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

映像ソースを割り当てる

クロスポイント [1] ～ [8] ボタンに、映像ソース（入力映像、静止画など）を割り当てます。

1. [MENU] ボタン → [VIDEO ASSIGN] → [INPUT 1] ～ [INPUT 8] を選び、[VALUE] つまみを押す。

VIDEO ASSIGN (1 / 1)	
INPUT 1	HDMI IN 1
INPUT 2	HDMI IN 2
INPUT 3	HDMI IN 3
INPUT 4	HDMI IN 4
INPUT 5	HDMI IN 5
INPUT 6	STILL 1
INPUT 7	STILL 2
INPUT 8	BLACK
HDMI OUT 3	INPUT 6
-FADE TIME	1.0sec
HDMI OUT 4/USB OUT	INPUT 4
-FADE TIME	1.0sec

映像ソース	説明
HDMI 1 ～ 5	INPUT 1 ～ 5 端子の映像
STILL 1、2	静止画 1、2
BLACK	黒画面
N/A	映像ソースなし

2. [VALUE] つまみで映像ソースを選び、[VALUE] つまみを押す。
3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

静止画は、以下の方法で本体に読み込むことができます。

- ➡ 「USB メモリーから静止画を読み込む」 (P.19)
- ➡ 「入力映像から静止画をキャプチャーする」 (P.20)

OUTPUT 3 ～ 4 端子から、ダウン・コンバートした映像を出力する

OUTPUT 3、4 端子に接続した機器に合わせて、出力映像を 1080p にダウン・コンバートすることができます。

1. [MENU] ボタン → [VIDEO OUTPUT] → [HDMI OUT 3]、[HDMI OUT 4] を選び、[VALUE] つまみを押す。

HDMI OUT 3 (1 / 1)	
OUTPUT STATUS	2160/59.94p
COLOR GAMUT	SYSTEM
DYNAMIC RANGE	SYSTEM
1080p DOWN CONVERT	OFF

2. [VALUE] つまみで「1080p DOWN CONVERT」を選び、[VALUE] つまみを押す。

HDMI OUT 3 (1 / 1)	
OUTPUT STATUS	1080/59.94p
COLOR GAMUT	SYSTEM
DYNAMIC RANGE	SYSTEM
1080p DOWN CONVERT	ON

3. [VALUE] つまみでダウン・コンバートする (ON) /しない (OFF) を選び、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

ディスプレイの画質調節に便利なテスト・パターンを出力することができます。

[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [TEST PATTERN] でテスト・パターンを設定します。

入力映像を調整する

入力映像のサイズや位置を調節します。

1. [MENU] ボタン → [VIDEO INPUT] → [HDMI IN 1] ~ [HDMI IN 5] を選び、[VALUE] つまみを押す。

HDMI IN 4	(1 / 1)
INPUT STATUS	ENTER
DYNAMIC RANGE	AUTO
EDID	INTERNAL
ZOOM	100.0%
SCALING TYPE	FULL
-MANUAL SIZE H	---
-MANUAL SIZE V	---
POSITION H	0
POSITION V	0

2. [VALUE] つまみで以下のメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押す。

HDMI IN 4	(1 / 1)
INPUT STATUS	ENTER
DYNAMIC RANGE	AUTO
EDID	INTERNAL
ZOOM	100.0%
SCALING TYPE	FULL
-MANUAL SIZE H	---
-MANUAL SIZE V	---
POSITION H	0
POSITION V	0

メニュー項目	説明
INPUT STATUS	[VALUE] つまみを押すと (ENTER)、INPUT STATUS のメニューが表示されます。
DYNAMIC RANGE	ダイナミック・レンジを設定します。
EDID	入力フォーマット (EDID) を設定します (P.11)。
ZOOM	拡大／縮小率を設定します。
SCALING TYPE	スケーリング・タイプを設定します。
MANUAL SIZE H	スケーリング・タイプが [MANUAL] のときの水平方向のサイズを調節します。
MANUAL SIZE V	スケーリング・タイプが [MANUAL] のときの垂直方向のサイズを調節します。
POSITION H	水平方向の位置を調節します。
POSITION V	垂直方向の位置を調節します。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

OUTPUT 3、4 端子に映像バスを割り当てる

OUTPUT 3 ~ 4 端子には、任意の映像バスを割り当てるができます。

※ USB STREAM 端子には、OUTPUT 4 端子と同じ映像バスが割り当てられます。

映像バス	説明
PROGRAM	最終出力映像
PREVIEW	プレビュー出力映像 (次に出力される映像) ※ フェードイン／アウトの効果 (P.21) は、反映されません。
INPUT 1 ~ 8	クロスポイント [1] ~ [8] ボタンに割り当てられている映像

1. [MENU] ボタン → [VIDEO ASSIGN] → [HDMI OUT 3] [HDMI OUT 4/USB OUT] を選び、[VALUE] つまみを押す。

VIDEO ASSIGN	(1 / 1)
INPUT 1	HDMI IN 1
INPUT 2	HDMI IN 2
INPUT 3	HDMI IN 3
INPUT 4	HDMI IN 4
INPUT 5	HDMI IN 5
INPUT 6	STILL 1
INPUT 7	STILL 2
INPUT 8	BLACK
HDMI OUT 3	PROGRAM
-FADE TIME	1.0sec
HDMI OUT 4/USB OUT	INPUT 4
-FADE TIME	1.0sec

2. [VALUE] つまみで、割り当てる映像バスを選ぶ。
3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

映像バスの割り当てと音声出力について

映像バスとは別に、端子ごとに任意の音声バス (MAIN バス、AUX 1 バス、AUX 2 バス、MONITOR バス) を割り当てるができます (P.33)。

著作権保護（HDCP）された映像を入力する

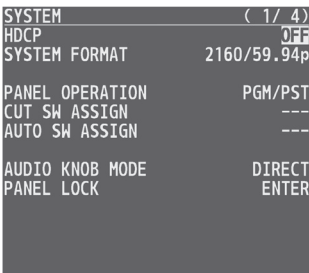
BD プレーヤーなどから著作権保護（HDCP）された映像を入力するには、HDCP の入力を有効にする必要があります。

※ 著作権保護（HDCP）された映像／音声を出力するときは、HDCP 対応の機器を接続してください。

HDCP とは？

ビデオ再生機器からディスプレイなどの表示機器にデジタル信号を送る際、その経路を暗号化し、コンテンツが不正にコピーされるのを防止するための著作権保護技術です。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [HDCP] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで [ON] を選び、[VALUE] つまみを押す。

設定値	説明
ON	著作権保護（HDCP）された映像を入力できます。また、出力される映像に HDCP を付加します。 ※ USB STREAM 端子から映像／音声は出力されません。
OFF	著作権保護（HDCP）された映像は入力できません。

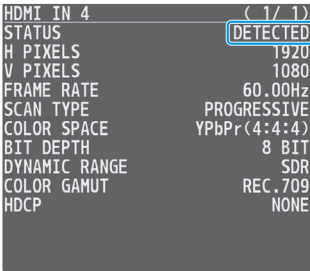
3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

HDCP 対応機器の確認

ソース機器

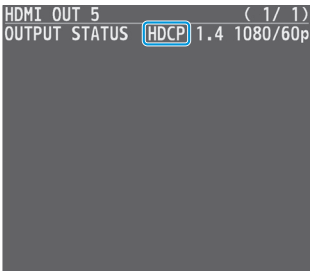
ソース機器の HDCP 対応状況は、[MENU] ボタン → [VIDEO INPUT] → [HDMI IN 1] ～ [HDMI IN 5] → [INPUT STATUS] で確認することができます。

著作権保護（HDCP）された映像が入力されているときは、[DETECTED] と表示されます。



出力機器

HDCP 対応機器が接続されているときは、[MENU] ボタン → [VIDEO OUTPUT] → [HDMI OUT 1] ～ [HDMI OUT 5] → [OUTPUT STATUS] に [HDCP] と表示されます。



映像の操作

映像を切り替える

PGM/A バスと PST/B バスの映像を切り替えて、最終出力します。

操作モードを設定する

映像切り替えには、「PGM/PST モード」、「A/B モード」の2つの操作モードがあります。

PGM/A バスの映像



PST/B バスの映像

PGM/PST モード（工場出荷時の設定）

常に PGM/A バスの映像が最終出力されます。PST/B バスの映像が、プレビュー出力映像（次に出力される映像）になります。

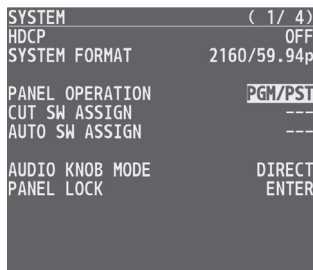
ビデオ・フェーダーや [CUT] [AUTO] ボタンを操作すると、最終出力映像とプレビュー出力映像が入れ替わります。

A/B モード

ビデオ・フェーダー操作すると、ビデオ・フェーダーが倒れているバス側の映像が最終出力されます。もう一方のバスの映像が、プレビュー出力映像（次に出力される映像）になります。

[CUT] [AUTO] ボタンを操作したときは、PGM/A バスと PST/B バスの映像が交互に最終出力されます。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [PANEL OPERATION] を選び、[VALUE] つまみを押す。

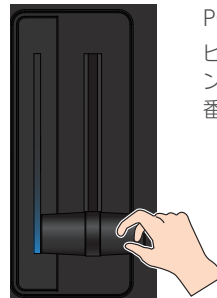


2. [VALUE] つまみで操作モードを選び、[VALUE] つまみを押す。
3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

PGM/PST モードで切り替える

ここでは、操作モードの設定で「PGM/PST モード」を選んだ場合の手順を説明します。

1. ビデオ・フェーダーを上側または下側に倒しきる。

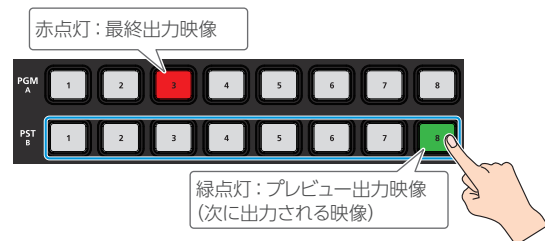


PGM/A バスの映像が最終出力されます。

ビデオ・フェーダーを完全に倒しきると、トランジション・インジケーターが一番上または一番下が明るく点灯します。

2. PST/B クロスポイント[1]～[8] ボタンを押して、プレビュー出力映像（次に出力される映像）を選ぶ。

マルチビューの PVW セクションで、プレビュー出力映像を確認できます。



3. [TRANSITION] ボタンを押して、切り替え効果（ミックス、ワイプ）を選ぶ。



ミックス

2つの映像が混ざり合いながら切り替わります。



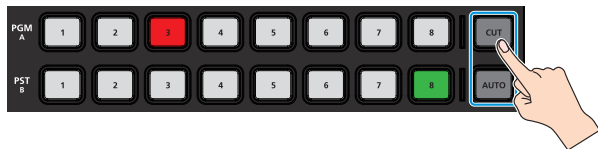
ワイプ

元の映像に次の映像が割り込んでくる形で切り替わります。



ボタン操作で切り替える場合

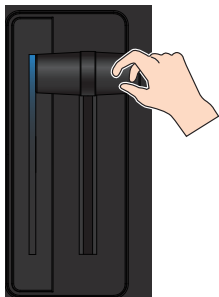
4. [CUT] または [AUTO] ボタンを押す。



ボタン	説明
[CUT] (赤点灯)	瞬時に映像が切り替わります。
[AUTO] (赤点滅)	切り替え (トランジション) 効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。 映像切り替え時間の設定 • [MENU] ボタン → [MIX/WIPE] → [MIX] → [MIX TIME] • [MENU] ボタン → [MIX/WIPE] → [WIPE] → [WIPE TIME]

フェーダー操作で切り替える場合

4. ビデオ・フェーダーを手順 1 と反対の方向に倒す。



ビデオ・フェーダーの動きに合わせて、映像が切り替わります。

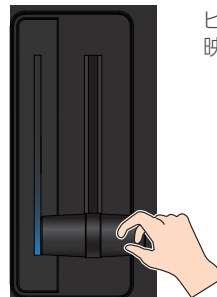
メモ

- ミックスやワイプの切り替えパターンを変更することができます。
→ 「ミックス／ワイプのパターンを変更する」 (P.17)
- [AUTO] [CUT] ボタンを使って映像を切り替えると、ビデオ・フェーダーの位置と実際の出力が異なることがあります。
この状態でビデオ・フェーダーを操作した場合、ビデオ・フェーダーの位置と実際の出力が一致するまで、出力は変化しません。

A/B モードで切り替える

ここでは、操作モードの設定で「A/B モード」 (P.15) を選んだ場合の手順を説明します。

1. ビデオ・フェーダーを上側または下側に倒しきる。



ビデオ・フェーダーを倒したバス側の映像が最終出力されます。

2. ビデオ・フェーダーを倒していない側のクロスポイント [1] ~ [8] ボタンを押して、プレビュー出力映像 (次に出力される映像) を選ぶ。



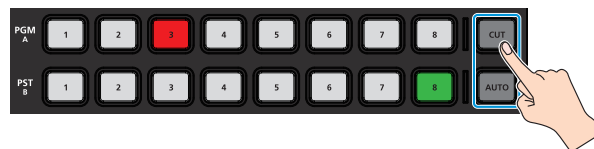
赤点灯：最終出力映像
緑点灯：プレビュー出力映像 (次に出力される映像)

3. [TRANSITION] ボタンを押して、切り替え効果 (ミックス、ワイプ) を選ぶ。



ボタン操作で切り替える場合

4. [CUT] または [AUTO] ボタンを押す。



ボタン	説明
[CUT] (赤点灯)	瞬時に映像が切り替わります。
[AUTO] (赤点滅)	切り替え (トランジション) 効果がかかり、自動的に映像が切り替わります。 映像切り替え時間の設定 • [MENU] ボタン → [MIX/WIPE] → [MIX] → [MIX TIME] • [MENU] ボタン → [MIX/WIPE] → [WIPE] → [WIPE TIME]

フェーダー操作で切り替える場合

4. ビデオ・フェーダーを手順 1 と反対の方向に倒す。

ビデオ・フェーダーの動きに合わせて、映像が切り替わります。

メモ

- ミックスやワイプの切り替えパターンを変更することができます。
→ 「ミックス／ワイプのパターンを変更する」(P.17)
- [CUT] [AUTO] ボタンを押したときの動作を変更することができます。
→ 「[CUT] [AUTO] ボタンの機能を変更する」(P.17)
- [CUT] [AUTO] ボタンを使って映像を切り替えと、ビデオ・フェーダーの位置と実際の出力が異なることがあります。
この状態でビデオ・フェーダーを操作した場合、ビデオ・フェーダーの位置と実際の出力が一致するまで、出力は変化しません。

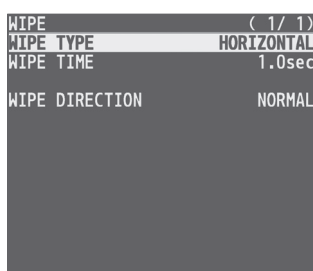
ミックス／ワイプのパターンを変更する

ミックス／ワイプの切り替えパターンやワイプの方向などを変更することができます。

1. [MENU] ボタン → [MIX/WIPE] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで「MIX」または「WIPE」を選び、[VALUE] つまみを押す。



メニュー項目	説明
MIX	ミックスの切り替え時間を設定します。
WIPE	ワイプの切り替えパターンや映像切り替え時間などを設定します。

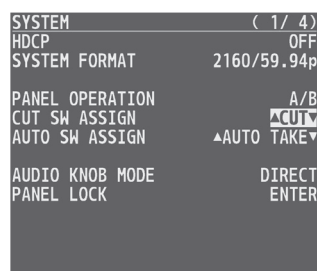
3. [VALUE] つまみでメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押す。
4. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
5. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

[CUT] [AUTO] ボタンの機能を変更する

操作モードが A/B モード (P.15) のときは、[CUT] [AUTO] ボタンを押したときの動作を変更することができます。

※ PGM/PST モードのときは、[CUT] [AUTO] ボタンの機能は固定です。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [CUT SW ASSIGN]または[AUTO SW ASSIGN]を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみでボタンの機能を選び、[VALUE] つまみを押す。

設定値	説明
CUT SW ASSIGN	
▲Auto Take	PST/B バスの映像が選ばれているときに、PGM/A バスの映像に切り替えます。
▲Auto Take▼	PGM/A バスと PST/B バスの映像を切り替えます。
▲Cut	PST/B バスの映像が選ばれているときに、PGM/A バスの映像にカットで切り替えます。
▲Cut▼	PGM/A バスと PST/B バスの映像を、カットで切り替えます。
AUTO SW ASSIGN	
Auto Take▼	PGM/A バスの映像が選ばれているときに、PST/B バスの映像に切り替えます。
▲Auto Take▼	PGM/A バスと PST/B バスの映像を切り替えます。
Cut▼	PGM/A バスの映像が選ばれているときに、PST/B バスの映像にカットで切り替えます。
▲Cut▼	PGM/A バスと PST/B バスの映像を、カットで切り替えます。

3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

自動的に映像を切り替える（オート・スイッチング）

INPUT 1 ～ 8 の映像を自動的に切り替えます（オート・スイッチング機能）。映像を自動的に切り替えることで、オペレーションを効率化することができます。

あらかじめ指定した時間が経過すると、自動的に INPUT 1 ～ 8 の映像が切り替わります。映像ごとに表示時間を変えたり、映像をランダムに切り替えたりすることもできます。

複数のカメラ映像を切り替えて、弾き語りをライブ配信するときなどに便利です。

※ 映像入力がない場合は、スキップされます。

オート・スイッチング機能をオン／オフする

1. [MENU] ボタン → 「AUTO SWITCHING」 → 「AUTO SWITCHING」を選び、[VALUE] つまみを押す。

AUTO SWITCHING	(1 / 1)
AUTO SWITCHING	OFF
SCAN SEQUENCE	NORMAL
SCAN TRANSITION TIME	1.0sec
INPUT 1 TIME	5sec
INPUT 2 TIME	5sec
INPUT 3 TIME	5sec
INPUT 4 TIME	5sec
INPUT 5 TIME	5sec
INPUT 6 TIME	5sec
INPUT 7 TIME	5sec
INPUT 8 TIME	5sec

2. [VALUE] つまみで「ON」または「OFF」を選び、[VALUE] つまみを押す。
3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

ASSIGNABLE PADS に機能を割り当てて、オート・スイッチングのオン／オフを切り替えることができます（P.44）。

オート・スイッチングの動作を設定する

1. [MENU] ボタン → 「AUTO SWITCHING」を選び、[VALUE] つまみを押す。

AUTO SWITCHING	(1 / 1)
AUTO SWITCHING	OFF
SCAN SEQUENCE	NORMAL
SCAN TRANSITION TIME	1.0sec
INPUT 1 TIME	5sec
INPUT 2 TIME	5sec
INPUT 3 TIME	5sec
INPUT 4 TIME	5sec
INPUT 5 TIME	5sec
INPUT 6 TIME	5sec
INPUT 7 TIME	5sec
INPUT 8 TIME	5sec

2. [VALUE] つまみで以下のメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押す。

AUTO SWITCHING	(1 / 1)
AUTO SWITCHING	OFF
SCAN SEQUENCE	REVERSE
SCAN TRANSITION TIME	1.0sec
INPUT 1 TIME	5sec
INPUT 2 TIME	5sec
INPUT 3 TIME	5sec
INPUT 4 TIME	5sec
INPUT 5 TIME	5sec
INPUT 6 TIME	5sec
INPUT 7 TIME	5sec
INPUT 8 TIME	5sec

メニュー項目	説明
SCAN SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 NORMAL : INPUT 1 → 8 の順に切り替わります。 REVERSE : INPUT 8 → 1 の順に切り替わります。 RANDOM : ランダムに切り替わります。
SCAN TRANSITION TIME	映像の切り替え時間を設定します。
INPUT 1 ～ 8 TIME	映像の表示時間を設定します。 「Off」にすると、スキップされます。

※ パラメーターの詳細については、「17：AUTO SWITCHING」（P.61）をご覧ください。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

静止画を読み込む

静止画を読み込んで映像と同じように出力したり (P.21)、DSK 合成 (P.26) のソースとして使ったりすることができます。

静止画の読み込みには、「USB メモリーから読み込む方法」と「入力映像をキャプチャーする方法」があります。

静止画は、2 枚まで本体に保存することができます。

※ 本体に静止画が保存されると、静止画の保存枚数に応じて起動時間が長くなります。

USB メモリーから静止画を読み込む

USB メモリーに保存した静止画を本体に読み込みます。

注意

- 静止画は出力フォーマット・サイズにスケーリングされます。
- USB メモリーを初めて使うときは、必ず V-1-4K でフォーマットしてください (P.10)。
- 「PLEASE WAIT」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。
- USB メモリーが認識されるまでに、時間がかかる場合があります。

読み込み対応フォーマット

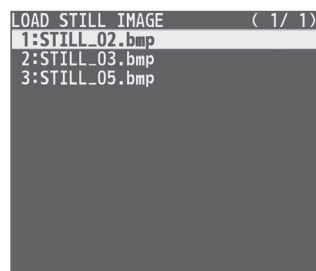
フォーマット	Bitmap ファイル (.bmp)、24 ビットカラー、非圧縮
解像度	システム・フォーマット (P.11) に準拠
ファイル名	半角英数 64 文字以内 必ず拡張子「.bmp」を付けてください。

1. あらかじめパソコンなどを使って、USB メモリーのルート・ディレクトリーに静止画を保存しておく。
2. USB HOST 端子に、USB メモリーを接続する。
3. [MENU] ボタン → 「STILL IMAGE」 → 「LOAD FROM STORAGE」を選び、[VALUE] つまみを押す。



4. [VALUE] つまみで静止画の読み込み先メモリー (STILL 1 または 2) を選び、[VALUE] つまみを押す。

USB メモリー内の静止画が一覧表示されます。



5. [VALUE] つまみで読み込みたい静止画を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。

6. [VALUE] つまみで「YES」を選び、[VALUE] つまみを押す。
静止画が本体に読み込まれます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。
7. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

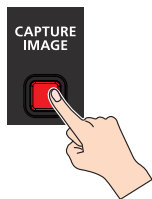
入力映像から静止画をキャプチャーする

INPUT 1 ～ 5 端子に入力された映像をキャプチャーし、静止画として本体に保存します。

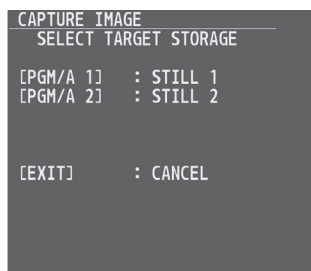
注意

- キャプチャー時、キャプチャーする映像とは別の入力映像が一時的にプレビュー出力されます。
- キャプチャーした静止画の保存が完了するまでに、最大 3 分かかります。

1. [CAPTURE IMAGE] ボタンを押して、オン（点灯）にする。



CAPTURE IMAGE 画面が表示され、PGM/A クロスポイント [1] ～ [2] ボタンが黄点滅します。



2. PGM/A クロスポイント [1] または [2] ボタンを押して、静止画の保存先（STILL 1 または STILL 2）を選ぶ。

PGM/A クロスポイント [1] ボタン：STILL 1

PGM/A クロスポイント [2] ボタン：STILL 2

※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。



3. PGM/A クロスポイント [1] ～ [5] ボタンを押して、キャプチャーする入力映像を選ぶ。

PGM/A クロスポイント [1] ～ [5] ボタンが、HDMI IN 1 ～ 5 に対応します。



ボタンを押すと同時にキャプチャーが実行されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

※ 映像入力なしのボタンを押すと「INPUT ERROR」と表示され、キャプチャーは実行されません。

4. 操作を終了するときは、[CAPTURE IMAGE] ボタンを押してオフ（消灯）にする。

メモ

HDCP が有効な映像ソースをキャプチャーした場合、システムの HDCP (P.14) が「OFF」になると、その静止画は全画面黒画面として扱われ、表示できなくなります。

読み込んだ静止画を出力する

クロスポイント・ボタンに本体に読み込んだ静止画を割り当てて、映像と同じように出力します。

1. 以下の手順に従って、本体に静止画を読み込む。

- ➡ 「USB メモリーから静止画を読み込む」 (P.19)
- ➡ 「入力映像から静止画をキャプチャーする」 (P.20)

2. 「映像ソースを割り当てる」 (P.12) の手順に従って、クロスポイント・ボタンに静止画を割り当てる。

3. 「映像を切り替える」 (P.15) の手順に従って、静止画を出力する。

静止画を削除する

本体に保存されている静止画を削除します。

1. [MENU] ボタン → [STILL IMAGE] → [DELETE STILL IMAGE] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで削除したい静止画 (All、STILL 1、STILL 2) を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。

3. [VALUE] つまみで [YES] を選び、[VALUE] つまみを押す。

静止画が削除されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

最終出力映像をフェードイン／アウトする

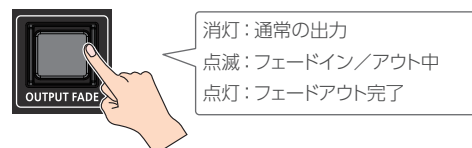
最終出力映像から黒画面へフェードアウト、または黒画面から最終出力映像へフェードインします。

映像出力したくない場面で、映像を黒画面にすることができます。

※ 工場出荷時の設定では、最終出力映像と音声と同時にフェードイン／アウトします。

※ フェードイン／アウトの効果が適用されるのは、最終出力のみです。

1. [OUTPUT FADE] ボタンを押す。



最終出力映像から黒画面にフェードアウトします。

完全にフェードアウトすると、[OUTPUT FADE] ボタンが点灯します。

2. フェードインさせるときは、もう一度 [OUTPUT FADE] ボタンを押す。

[OUTPUT FADE] ボタンが点滅し、最終出力が始まります。

完全にフェードインすると、[OUTPUT FADE] ボタンが消灯します。

メモ

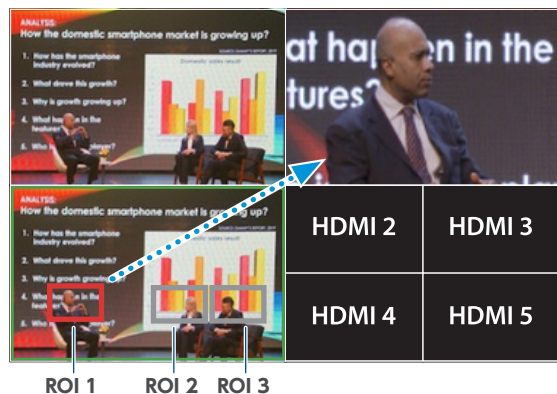
- フェードイン／アウトにかかる時間は、[MENU] ボタン → [SYSTEM] → OUTPUT FADE [TIME] で設定します。
- 音量を変えずに映像だけをフェードイン／アウトするには、[MENU] ボタン → [SYSTEM] → OUTPUT FADE [AUDIO FADE] を [DISABLE] に設定します。

映像を切り出して使う (ROI)

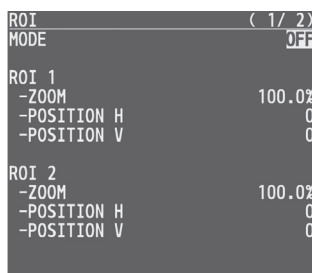
ROI (Region of Interest) 機能を使うと、たとえば 1 台の 4K カメラの映像から必要な領域を最大 4 つまで切り出し、入力映像として使うことができます。

カメラの台数を増やすことなく映像演出の幅を広げることができます。

ROI モード：オンのマルチビュー画面

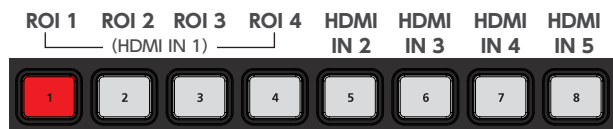


1. [MENU] ボタン → [ROI] → [MODE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

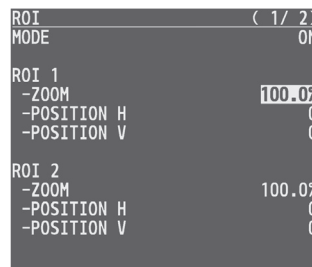


2. [VALUE] つまみで「ON」を選び、[VALUE] つまみを押す。

- ROI モードがオンになり、マルチビューの画面構成が ROI 用に変ります。
- ROI 機能は、HDMI 1 (INPUT 1 端子) に入力された映像を切り出すことができます。
- ROI と HDMI 入力、以下のようにクロスポイント・ボタンに割り当てられます。



3. [VALUE] つまみで ROI の項目を選び、[VALUE] つまみを押す。



映像を切り出す領域を設定します。最大 4 つ (ROI 1 ~ 4) まで切り出すことができます。

メニュー項目	説明
ZOOM	切り出す領域を、元の映像に対する倍率（拡大率）で設定します。
POSITION H	切り出す映像の水平方向の位置を設定します。
POSITION V	切り出す映像の垂直方向の位置を設定します。

4. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
5. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

- HDMI 入力に静止画を割り当てることもできます。
[MENU] ボタン → [VIDEO ASSIGN] で設定します。
- ROI の映像を使って、ミックス／ワイプ／スプリット／PinP／キー合成をすることができます。

映像合成の操作

スプリットで映像を合成する

画面を左右／上下に分割にして 2 つの映像を合成します。

映像の配置

左または上側：PGM/A バスの映像

右または下側：PST/B バスの映像



画面レイアウトを設定する

スプリット時の画面レイアウトを設定することができます。

1. [MENU] ボタン → [PinP&KEY/SPLIT] → [SPLIT] → [SPLIT TYPE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

SPLIT	(1 / 1)
SPLIT TYPE	SPLIT V
PGM/A-CENTER	0.0%
PST/B-CENTER	0.0%
CENTER POSITION	0.0%
BORDER COLOR	WHITE
-EDIT	---
BORDER WIDTH	3

2. [VALUE] つまみで「SPLIT V」または「SPLIT H」を選び、[VALUE] つまみを押す。

設定値	説明
SPLIT V	映像の中央部を縦に切り出して合成します（左右分割）。
SPLIT H	映像の中央部を横に切り出して合成します（上下分割）。

3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

境界線の色や幅を変更することができます。

[MENU] ボタン → [PinP&KEY/SPLIT] → [SPLIT] → [BORDER COLOR]、[BORDER WIDTH] で設定します。

スプリットで合成する

1. PGM/A クロスポイント [1] ～ [8] ボタンを押して、上または左側に表示させたい映像を選ぶ。

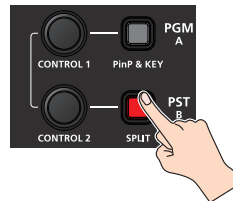


2. PST/B クロスポイント [1] ～ [8] ボタンを押して、下または右側に表示させたい映像を選ぶ。

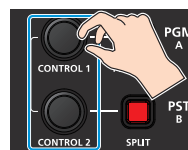


3. [SPLIT] ボタンを押して、スプリット合成をオン（点灯）にする。

手順 1 と 2 で選んだ映像が合成されます。



4. [CONTROL 1] または [CONTROL 2] つまみで、映像や境界線の位置を調節する。



つまみ	説明
[CONTROL 1]	左側／上側に配置された映像の水平／垂直方向の位置を調節します。 押しながら回す：境界線の位置を調節します。
[CONTROL 2]	右側／下側に配置された映像の水平／垂直方向の位置を調節します。 押しながら回す：境界線の位置を調節します。

5. スプリットをオフにするときは、もう一度 [SPLIT] ボタンを押す。

ピクチャーインピクチャー（PinP）で映像を合成する

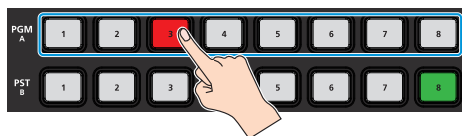
背景映像の上に子画面の映像を合成します。



注意

- ワイプ（P.15）は使用できません。
- 子画面の映像が静止画の場合、静止画を縮小表示させることはできません。

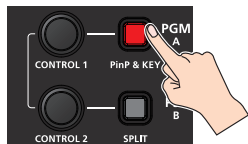
1. PGM/A クロスポイント [1] ～ [8] ボタンを押して、背景にしたい映像を選ぶ。



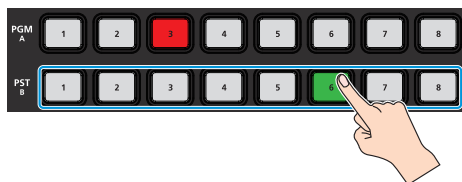
2. [PinP & KEY] ボタンを押して、オン（点灯）にする。

マルチビューの PVW セクションに子画面が表示され、子画面の位置や大きさを確認することができます。

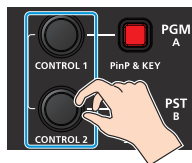
この段階では、最終出力には反映されません。



3. PST/B クロスポイント [1] ～ [8] ボタンを押して、子画面にしたい映像を選ぶ。

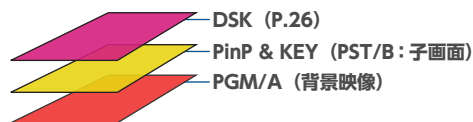


4. [CONTROL 1] [CONTROL 2] つまみで、子画面を調整する。



メモ

出力映像のレイヤー構造は、下図のとおりです。

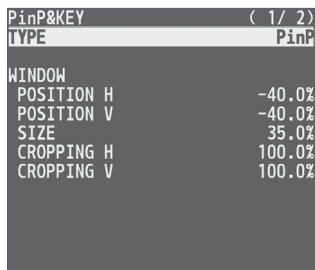


つまみ	説明
[CONTROL 1]	子画面の水平方向の位置を調節します。 押しながら回す： 子画面のサイズを調節します。
[CONTROL 2]	子画面の垂直方向の位置を調節します。 押しながら回す： 子画面映像の拡大率を調節します。

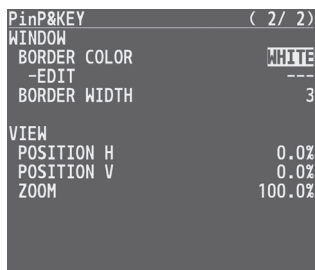
子画面の詳細を設定する

子画面のサイズや形、縁取り幅などを細かく設定することができます。

1. [MENU] ボタン → [PinP&KEY/SPLIT] → [PinP&KEY] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで以下のメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押す。



パラメーター	説明
TYPE	PinP 合成のタイプを設定します。
WINDOW	子画面を調節します。
POSITION H	水平方向の位置を調節します。
POSITION V	垂直方向の位置を調節します。
SIZE	サイズ（拡大／縮小）を調節します。
CROPPING H	水平方向のサイズを調節します。
CROPPING V	垂直方向のサイズを調節します。
BORDER COLOR	縁取りの色を設定します。
BORDER WIDTH	縁取りの幅を調節します。
VIEW	子画面に表示される映像を調節します。
POSITION H	水平方向の位置を調節します。
POSITION V	垂直方向の位置を調節します。
ZOOM	拡大率を調節します。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

子画面をキー合成する

子画面の一部を透明にして、背景映像と合成します。

黒または白背景のルミナンス・キー、青または緑背景のクロマ・キーを使うことができます。

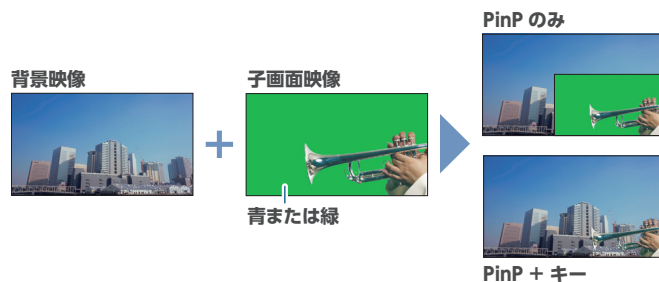
ルミナンス・キー

黒または白部分を透明にしてロゴや画像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。



クロマ・キー

青または緑部分を透明にして映像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。



1. [MENU] ボタン → [PinP&KEY/SPLIT] → [PinP&KEY] → [TYPE] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで、PinP 合成のタイプを選び、[VALUE] つまみを押す。

設定値	説明
LUMINANCE-WHITE KEY	PinP とルミナンス・キー（白）の組み合わせです。子画面映像の白い部分を透明にして、背景映像と合成します。
LUMINANCE-BLACK KEY	PinP とルミナンス・キー（黒）の組み合わせです。子画面映像の黒い部分を透明にして、背景映像と合成します。
CHROMA KEY	PinP とクロマ・キーの組み合わせです。子画面映像の青または緑部分を透明にして、背景映像と合成します。

3. メニュー項目を選び、効果のかかり具合を調整する。

※ メニュー項目の詳細については、「5：PinP&KEY/SPLIT」（P.51）をご覧ください。

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

ダウンストリーム・キーヤー（DSK）で映像を合成する

スプリット（P.23）や PinP（P.24）で合成された映像に、さらにタイトルやテロップ、映像を合成することができます（DSK 合成）。

※ DSK レイヤーは他のレイヤーの手前に置かれます（➡ P.24 メモ欄）。

テロップや画像を合成する

黒または白部分を透明にして文字や画像を切り抜き、背景映像に重ねて合成します。



DSK 映像ソースや DSK タイプを設定する

1. [MENU] ボタン → [DSK] → [DSK SOURCE] [DSK TYPE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
DSK ( 1 / 1 )
DSK SOURCE STILL 1
TIME 1.0sec
DSK TYPE LUMINANCE-BLACK
DSK LEVEL 60
DSK GAIN 0
MIX LEVEL 255
```

```
DSK ( 1 / 1 )
DSK SOURCE STILL 1
TIME 1.0sec
DSK TYPE LUMINANCE-BLACK
DSK LEVEL 60
DSK GAIN 0
MIX LEVEL 255
```

2. [VALUE] つまみで、以下のように設定する。

パラメーター	説明
DSK SOURCE	DSK 合成の映像ソースを選びます。
DSK TYPE	LUMINANCE-WHITE 明るさを基準にして、白い部分を透明にします。
	LUMINANCE-BLACK 明るさを基準にして、黒い部分を透明にします。

※ Roland Fill+Key モードが ON のときは「Roland FILL+KEY MODE IS ENABLED.」と表示され、Roland Graphics Presenter を使ったキー合成になります（P.27）。

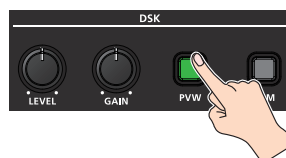
この場合、DSK SOURCE と DSK TYPE の設定はできません。

```
DSK ( 1 / 1 )
DSK MODE Roland FILL+KEY
DSK SOURCE HDMI 5
MIX LEVEL 255
Roland FILL+KEY MODE IS ENABLED.
```

3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

DSK 合成する

1. DSK [PVW] ボタンを押して、オン（点灯）にする。



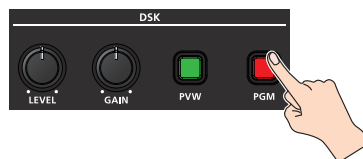
マルチビューの PVW セクションに合成結果が表示されます。
この段階では、最終出力には反映されません。

2. DSK [LEVEL] と [GAIN] つまみで、効果のかかり具合を調整する。



つまみ	説明
[LEVEL]	キーの抜け具合（透過度）を調節します。
[GAIN]	キーのエッジのぼかし具合（半透過領域）を調節します。

3. DSK [PGM] ボタンを押して、DSK 合成をオン（点灯）にする。



合成結果が最終出力されます。

4. DSK 合成をオフにするときは、もう一度 DSK [PGM] ボタンを押す。

メモ

DSK 映像ソースがフェードイン/アウトする時間は、[MENU] ボタン → [DSK] → [TIME] で設定します。

Graphics Presenter のコンテンツを合成する (Roland Fill+Key モード)

専用アプリ「Roland Graphics Presenter」を使うと、アプリ内のコンテンツ（タイトル、画像、動画）を、パソコンから HDMI ケーブル 1 本で V-1-4K へ入力／合成することができます。本体側でキー合成をするための調整は不要です。

「Roland Graphics Presenter」(以降、Graphics Presenter) は、ローランド・ホームページからダウンロードできます。

<https://proav.roland.com/jp/>

※ Graphics Presenter は、Windows 専用アプリです。

※ 詳しい操作方法については、「Graphics Presenter」(Web) の取扱説明書をご覧ください。

接続手順

1. [MENU] ボタン → [Roland FILL+KEY] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみを押す。
3. [VALUE] つまみで [ON] を選び、[VALUE] つまみを押す。
Roland Fill+Key モードがオンになります。
4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。
5. パソコンと V-1-4K の INPUT 5 端子を HDMI ケーブルで接続する。



6. パソコンで「Graphics Presenter」を起動する。
7. Graphics Presenter の「出力ディスプレイ」メニューで「V-1-4K」を選ぶ。
8. 「Graphics Presenter」で [ON AIR] ボタンをクリックする。
[ON AIR] ボタンが赤く点灯し、V-1-4K の HDMI 5 (マルチビュー) に、黒映像が表示されます。
9. 「Graphics Presenter」の手順に従い、タイトル映像を出力する。
V-1-4K の HDMI 5 (マルチビュー) に、「Graphics Presenter」で出力した映像が表示されます。
10. DSK [PVW] または [PGM] ボタンを押して、オン (点灯) にする。



「Graphics Presenter」の映像が、V-1-4K の出力映像に合成されます。

タイトル映像の操作方法については、「Graphics Presenter」の取扱説明書をご覧ください。

用意するもの

- V-1-4K 本体
- 「Graphics Presenter」をインストールした Windows パソコン
- HDMI ケーブル (1 本)

Roland Fill+Key モードでの制限事項

- スプリット (P.23)、PinP 合成 (P.24) は使用できません。
- PGM/A クロスポイント [1] ~ [8] ボタンで映像を切り替えたときは、内部処理の都合で PST/B バスを一時的に利用するため、PST/B バスの映像は黒画像になります。
- PST/B クロスポイント [1] ~ [8] ボタンで映像を切り替えたときは、PST/B バスの映像が数フレーム停止します。

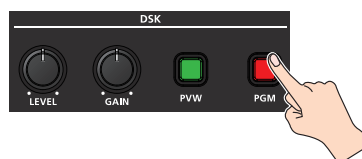
Roland Fill+Key モードをオフにする

Roland Fill+Key モードをオフにする場合は、必ず以下の手順でオフにしてください。

注意

手順とおりに操作しないと、意図しない映像が出力されることがあります。

1. DSK [PVW] または [PGM] ボタンを押して、オフ (消灯) にする。



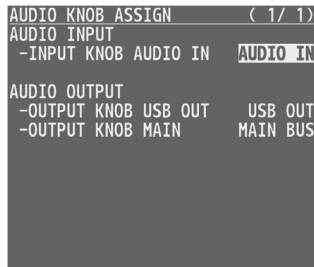
2. [MENU] ボタン → [Roland FILL+KEY] を選び、[VALUE] つまみを押す。
3. [VALUE] つまみを押す。
4. [VALUE] つまみで [OFF] を選び、[VALUE] つまみを押す。
Roland Fill+Key モードがオフになります。

音声の操作

[AUDIO IN] つまみに音声ソースを割り当てる

[AUDIO IN] つまみに、入力音声を割り当てます。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO KNOB ASSIGN] → AUDIO INPUT [INPUT KNOB AUDIO IN] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで、つまみに割り当てる音声ソースを選ぶ。

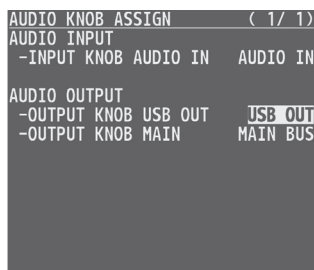
設定値	説明
AUDIO IN	AUDIO IN L、R 端子に入力した音声
USB IN	USB STREAM 端子に入力した音声
HDMI 1 ~ 5	INPUT 1 ~ 5 端子に入力した音声

3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

[USB OUT] [MAIN] つまみに音声ソースを割り当てる

[USB OUT] [MAIN] の各つまみに、出力音声を割り当てます。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO KNOB ASSIGN] → AUDIO OUTPUT [OUTPUT KNOB USB OUT] または [OUTPUT KNOB MAIN] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで、つまみに割り当てる音声ソースを選ぶ。

設定値	説明
MAIN BUS	MAIN バスの音声
AUX 1 ~ 2 BUS	AUX 1 ~ 2 バスの音声
USB OUT	USB STREAM 端子の音声

3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

入力ゲイン（感度）を調節する

入力音声に適正なレベルになるように、AUDIO IN の入力ゲインを調節します。

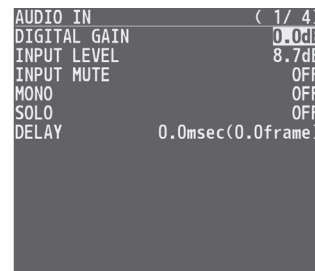
1. [AUDIO IN] つまみを「0dB」付近に合わせる。



2. [MAIN] つまみを「0dB」付近に合わせる。



3. [MENU] ボタン → [AUDIO INPUT] → [AUDIO IN] → [DIGITAL GAIN] を選び、[VALUE] つまみを押す。



4. [VALUE] つまみを反時計方向いっぱい回して、入力ゲインを最小（-42dB）にする。

5. 実際に入力する音声を出しながら [VALUE] つまみを時計方向にゆっくり回して、入力ゲインを調節する。

最も大きな音声を入力したときに AUDIO IN の SIG/PEAK インジケータが赤点灯しない範囲で、入力ゲインをできるだけ上げます。



6. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

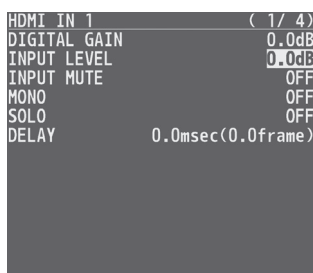
音量バランスを調節する

各入力音量のバランスと全体の音量を調節します。

1. [MAIN] つまみを「0dB」付近に合わせる。



2. [MENU] ボタン → [AUDIO INPUT] → [AUDIO IN] [USB IN] [HDMI IN 1～5] → [INPUT LEVEL] を選び、[VALUE] つまみを押す。



3. [VALUE] つまみで音量を調節し、[VALUE] つまみを押す。

スピーカーやヘッドホンで音声を聴きながら、各入力音量のバランスを調整します。

たとえば、強調したい音声の音量は上げて、他の音声の音量は下げます。

音声の入力がないときや使わない音声は、音量を最小 (-INFdB) にします。

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

5. [MAIN] つまみで、出力音量を調節する。

MAIN の SIG/PEAK インジケーターが、黄点灯する程度が適正です。

メモ

- 工場出荷時の設定では、[OUTPUT FADE] ボタンで最終出力映像をフェードイン/アウトすると、出力音声も同時にフェードイン/アウトします (P.21)。
- USB 出力の音量調節**
USB 出力の音量は [USB OUT] つまみで調節することができます (工場出荷時の設定)。
- 音量の調節に便利なテスト・トーンを出力することができます。
[MENU] ボタン → [SYSTEM] → [TEST TONE] で、出力するテスト・トーンを設定します。

入力音声にエフェクトをかける

入力音声 (AUDIO IN、USB IN、HDMI IN 1～5) にエフェクトをかけて、音質を調節します。

ハイパス・フィルター

不要な低域をカットします。

ノイズ・ゲート

設定した基準レベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かれているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。

コンプレッサー

設定した基準レベルを超える音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声聞き取りやすくなります。

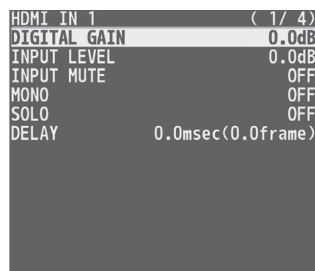
イコライザー

4 バンド・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅/減衰させて、音量を調節します。

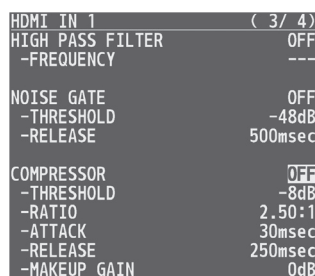
ディレイ (P.30)

音声を遅らせて出力します。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO INPUT] → [AUDIO IN] [USB IN] [HDMI IN 1～5] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで使いたいエフェクトのメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押す。



※ メニュー項目の詳細については、「9 : AUDIO INPUT」(P.54) をご覧ください。

3. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

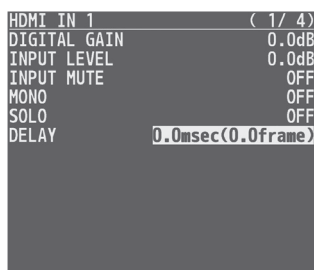
メモ

ASSIGNABLE PADS に機能を割り当てて、エフェクトのオン/オフを切り替えることができます (P.36)。

映像と音声のズレを補正する（ディレイ）

映像と音声にズレが発生したときに、入力音声を遅らせることで、映像と音声の出力タイミングを調節します。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO INPUT] → [AUDIO IN] [USB IN] [HDMI IN 1 ~ 5] → [DELAY] を選び、[VALUE] つまみを押す。



HDMI IN 1	(1 / 4)
DIGITAL GAIN	0.0dB
INPUT LEVEL	0.0dB
INPUT MUTE	OFF
MONO	OFF
SOLO	OFF
DELAY	0.0msec(0.0frame)

2. [VALUE] つまみで入力音声の遅延時間を調節し、[VALUE] つまみを押す。
3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

出力音声にエフェクトをかける

出力音声（MAIN バス、AUX 1 バス、AUX 2 バス）にエフェクトをかけて、音質を調節します。

イコライザー

4 バンド・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅／減衰させて、音量を調節します。

ディレイ

音声を遅らせて出力します。出力を遅らせることで、出力先機器に入力される音声のタイミングのズレを補正します。

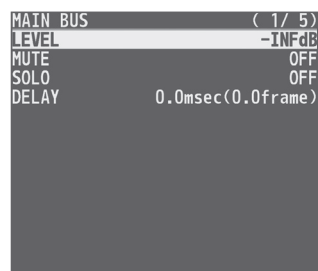
コンプレッサー／リミッター

設定した基準レベルを超える音声を圧縮したり、設定した基準レベルを超えないように出力音量を制限したりします。

グラフィック・イコライザー

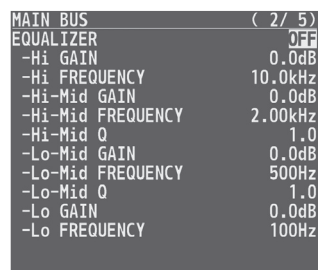
15 の帯域に分割された周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO OUTPUT] → [MAIN BUS] [AUX 1 BUS] [AUX 2 BUS] を選び、[VALUE] つまみを押す。



MAIN BUS	(1 / 5)
LEVEL	-INFdB
MUTE	OFF
SOLO	OFF
DELAY	0.0msec(0.0frame)

2. [VALUE] つまみで使いたいエフェクトのメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押す。



MAIN BUS	(2 / 5)
EQUALIZER	OFF
-Hi GAIN	0.0dB
-Hi FREQUENCY	10.0kHz
-Hi-Mid GAIN	0.0dB
-Hi-Mid FREQUENCY	2.00kHz
-Hi-Mid Q	1.0
-Lo-Mid GAIN	0.0dB
-Lo-Mid FREQUENCY	500Hz
-Lo-Mid Q	1.0
-Lo GAIN	0.0dB
-Lo FREQUENCY	100Hz

※ メニュー項目の詳細については、「10: AUDIO OUTPUT」(P.55)をご覧ください。

3. [VALUE] つまみで設定値を調節し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

映像の切り替えに音声の出力を連動させる（オーディオ・フォロー）

映像の切り替えに連動させて、音声の出力／消音を切り替えます（オーディオ・フォロー機能）。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO FOLLOW] を選び、[VALUE] つまみを押す。

AUDIO FOLLOW	(1 / 1)
ALL AUDIO FOLLOW	OFF
HDMI IN 1	OFF
HDMI IN 2	OFF
HDMI IN 3	OFF
HDMI IN 4	OFF
HDMI IN 5	OFF
AUDIO IN	OFF
USB IN	OFF
DSK FOLLOW	ON

2. [VALUE] つまみで、オーディオ・フォローを使いたい入力映像を選び、[VALUE] つまみを押す。

「ALL AUDIO FOLLOW」を選ぶと、オーディオ・フォローの設定を一括で変更することができます。

AUDIO FOLLOW	(1 / 1)
ALL AUDIO FOLLOW	OFF
HDMI IN 1	OFF
HDMI IN 2	OFF
HDMI IN 3	OFF
HDMI IN 4	OFF
HDMI IN 5	OFF
AUDIO IN	OFF
USB IN	OFF
DSK FOLLOW	ON

3. [VALUE] つまみを押して、「ON」にする。

設定値	説明
ON	映像が選ばれたときのみ、音声を出します。他の映像が選ばれたときは、自動的に消音します。
OFF	映像の選択に関係なく、常に音声を出します。

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

オーディオ・フォローの対象を追加する

AUDIO IN や USB IN の音声をオーディオ・フォローの対象にすることができます。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO FOLLOW] → [AUDIO IN] [USB IN] を選び、[VALUE] つまみを押す。

AUDIO FOLLOW	(1 / 1)
ALL AUDIO FOLLOW	OFF
HDMI IN 1	OFF
HDMI IN 2	OFF
HDMI IN 3	OFF
HDMI IN 4	OFF
HDMI IN 5	OFF
AUDIO IN	OFF
USB IN	HDMI 1
DSK FOLLOW	ON

2. [VALUE] つまみで、オーディオ・フォローを使いたい入力映像を選ぶ。

設定値	説明
HDMI 1 ～ 5	各音声に対して、オーディオ・フォロー機能を使う入力映像を指定します。
STILL 1, 2	指定した入力映像が選ばれたときのみ、音声を出します。
INPUT 1 ～ 8	指定した入力映像が選ばれたときのみ、音声を出します。
OFF	映像の選択に関係なく、常に音声を出します。

3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

DSK 映像出力に音声を連動させる

DSK ソース映像に音声を連動させることができます。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO FOLLOW] → [DSK FOLLOW] を選び、[VALUE] つまみを押す。

AUDIO FOLLOW	(1 / 1)
ALL AUDIO FOLLOW	OFF
HDMI IN 1	OFF
HDMI IN 2	OFF
HDMI IN 3	OFF
HDMI IN 4	OFF
HDMI IN 5	OFF
AUDIO IN	OFF
USB IN	OFF
DSK FOLLOW	ON

2. [VALUE] つまみを押して、「ON」にする。

設定値	説明
ON	DSK 合成をオン（DSK [PGM] ボタン点灯）にすると、音声を出します。 他の映像が選ばれたときは、自動的に消音します。
OFF	映像の選択に関係なく、常に音声を出します。

3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

音量を自動的に制御する (オート・ミキシング)

通常はオペレーターが操作する音量調節を、自動的に制御します（オート・ミキシング機能）。

音量調節の操作を V-1-4K に任せることができるため、専任のオペレーターがいない場面などで活用できます。特に会議やディスカッション、討論会など、複数のマイクが使われる場合に有効です。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO AUTO MIXING] → [AUDIO AUTO MIXING] を選び、[VALUE] つまみを押す。

AUDIO AUTO MIXING メニューが表示されます。

AUDIO AUTO MIXING	(1 / 2)
AUDIO AUTO MIXING	OFF
-AUDIO IN	DISABLE
-WEIGHT	100%
-USB IN	DISABLE
-WEIGHT	100%

2. [VALUE] つまみで「ON」を選び、[VALUE] つまみを押す。

オート・ミキシング機能がオンになります。

3. [VALUE] つまみで、設定の対象とする音声（AUDIO IN、USB IN、HDMI 1～5）を選び、[VALUE] つまみを押す。

AUDIO AUTO MIXING	(2 / 2)
-HDMI IN 1	DISABLE
-WEIGHT	100%
-HDMI IN 2	DISABLE
-WEIGHT	100%
-HDMI IN 3	DISABLE
-WEIGHT	100%
-HDMI IN 4	DISABLE
-WEIGHT	100%
-HDMI IN 5	DISABLE
-WEIGHT	100%

4. [VALUE] つまみでオート・ミキシングの対象（Enable）／非対象（Disable）を設定し、[VALUE] つまみを押す。

5. [VALUE] つまみで「WEIGHT」を選び、[VALUE] つまみを押す。

6. [VALUE] つまみで音量配分の優先度（0～100%）を設定し、[VALUE] つまみを押す。

- ・強調したい音声のウェイト・レベルは上げて、他の音声のウェイト・レベルは下げます。
- ・エアコンなどのノイズが気になる場合は、ウェイト・レベルを低めに設定します。

7. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

特定の音声だけ消音する（ミュート）

一時的に特定の音声を消音します（ミュート機能）。

入力音声のミュート

1. [MENU] ボタン → [AUDIO INPUT] → [AUDIO IN] [USB IN] [HDMI IN 1～5] を選び、[VALUE] つまみを押す。

HDMI IN 1	(1 / 4)
DIGITAL GAIN	0.0dB
INPUT LEVEL	0.0dB
INPUT MUTE	OFF
MONO	OFF
SOLO	OFF
DELAY	0.0msec(0.0frame)

2. [VALUE] つまみで「INPUT MUTE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

HDMI IN 1	(1 / 4)
DIGITAL GAIN	0.0dB
INPUT LEVEL	0.0dB
INPUT MUTE	OFF
MONO	OFF
SOLO	OFF
DELAY	0.0msec(0.0frame)

3. [VALUE] つまみで「ON」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ミュート機能がオンになります。

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

出力音声のミュート

1. [MENU] ボタン → [AUDIO OUTPUT] → [MAIN BUS] [AUX 1 BUS] [AUX 2 BUS] を選び、[VALUE] つまみを押す。

MAIN BUS	(1 / 5)
LEVEL	-INFdB
MUTE	OFF
SOLO	OFF
DELAY	0.0msec(0.0frame)

2. [VALUE] つまみで「MUTE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

MAIN BUS	(1 / 5)
LEVEL	-INFdB
MUTE	OFF
SOLO	OFF
DELAY	0.0msec(0.0frame)

3. [VALUE] つまみで「ON」を選び、[VALUE] つまみを押す。

ミュート機能がオンになります。

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

ASSIGNABLE PADS に機能を割り当てて、ミュートのオン／オフを切り替えることができます（P.36）。

特定の音声を確認する（ソロ）

一時的に特定の音声だけをヘッドホンでモニターします（ソロ機能）。

※ ソロ機能は、通常ヘッドホン出力に反映されます。ヘッドホン出力以外の出力端子でソロ機能を有効にしたい場合は、音声バスに「MONITOR BUS」を選んでください。

入力音声にソロ機能を使う

1. [MENU] ボタン → [AUDIO INPUT] → [AUDIO IN] [USB IN] [HDMI IN 1～5] を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
HDMI IN 1 ( 1 / 4 )
DIGITAL GAIN 0.0dB
INPUT LEVEL 0.0dB
INPUT MUTE OFF
MONO OFF
SOLO OFF
DELAY 0.0msec(0.0frame)
```

2. [VALUE] つまみで [SOLO] を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
HDMI IN 1 ( 1 / 4 )
DIGITAL GAIN 0.0dB
INPUT LEVEL 0.0dB
INPUT MUTE OFF
MONO OFF
SOLO OFF
DELAY 0.0msec(0.0frame)
```

3. [VALUE] つまみで [ON] を選び、[VALUE] つまみを押す。
ソロ機能がオンになります。

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

出力音声にソロ機能を使う

1. [MENU] ボタン → [AUDIO OUTPUT] → [MAIN BUS] [AUX 1 BUS] [AUX 2 BUS] を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
MAIN BUS ( 1 / 5 )
LEVEL -INFdB
MUTE OFF
SOLO OFF
DELAY 0.0msec(0.0frame)
```

2. [VALUE] つまみで [SOLO] を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
MAIN BUS ( 1 / 5 )
LEVEL -INFdB
MUTE OFF
SOLO OFF
DELAY 0.0msec(0.0frame)
```

3. [VALUE] つまみで [ON] を選び、[VALUE] つまみを押す。
ソロ機能がオンになります。

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

ASSIGNABLE PADS に機能を割り当てて、ソロ機能のオン/オフを切り替えることができます（P.36）。

AUX バスの音声を出力する

V-1-4K には、「MAIN バス」と「AUX 1 バス」「AUX 2 バス」「MONITOR バス」の 4 種類の音声バスがあります。

出力端子ごとに任意のバスを割り当てることができます。

音声バス	説明
MAIN バス	すべての入力音声をミックスして出力します（メイン出力）。
AUX 1 バス AUX 2 バス	AUX バスに送られた入力音声だけをミックスして出力します。メイン出力とは異なる音声を出力することができます。たとえば、ライブ会場では、すべての入力音声をミックスした音声を出力し、録音やストリーミング配信には、ある特定の入力音声だけ（AUX バス）を出力するといった使いかたができます。
MONITOR バス	ヘッドホンと同じ音声を出力します。音量は「MONITOR LEVEL」で調節します。

AUX バスを割り当てる

1. [MENU] ボタン → [AUDIO OUTPUT] → [OUTPUT ASSIGN] を選び、[VALUE] つまみを押す。

OUTPUT ASSIGN メニューが表示されます。

```
OUTPUT ASSIGN ( 1 / 1 )
AUDIO OUT MAIN BUS
PHONES OUT/MONITOR MAIN BUS
USB OUT MAIN BUS
HDMI OUT 1 MAIN BUS
HDMI OUT 2 MAIN BUS
HDMI OUT 3 MAIN BUS
HDMI OUT 4 MAIN BUS
HDMI OUT 5 MAIN BUS
```

2. [VALUE] つまみで AUX バスを割り当てる出力端子を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
OUTPUT ASSIGN ( 1 / 1 )
AUDIO OUT MAIN BUS
PHONES OUT/MONITOR MAIN BUS
USB OUT MAIN BUS
HDMI OUT 1 MAIN BUS
HDMI OUT 2 MAIN BUS
HDMI OUT 3 MAIN BUS
HDMI OUT 4 MAIN BUS
HDMI OUT 5 MAIN BUS
```

3. [VALUE] つまみで割り当てるバスを選び、[VALUE] つまみを押す。

端子	選ぶことができるバス
AUDIO OUT	MAIN BUS、AUX 1 BUS、 AUX 2 BUS、MONITOR BUS
PHONES OUT/MONITOR	MAIN BUS、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS
USB OUT HDMI OUT 1～5	MAIN BUS、AUX 1 BUS、 AUX 2 BUS、MONITOR BUS

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

AUX バスへ音声を送る

1. [MENU] ボタン → [AUDIO OUTPUT] → [AUX 1 BUS] または [AUX 2 BUS] を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
AUX 1 BUS ( 1 / 5 )
LEVEL 0.0dB
MUTE OFF
SOLO OFF
DELAY 0.0msec(0.0frame)
AUX 1 SEND LEVEL ENTER
AUX 1 SEND POINT ENTER
```

2. [VALUE] つまみで [AUX 1 SEND LEVEL] または [AUX 2 SEND LEVEL] を選び、[VALUE] つまみを押す。

AUX 1、2 SEND LEVEL メニューが表示されます。

```
AUX 1 SEND ( 1 / 1 )
AUDIO IN -INFdB
USB IN -INFdB

HDMI IN 1 -INFdB
HDMI IN 2 -INFdB
HDMI IN 3 -INFdB
HDMI IN 4 -INFdB
HDMI IN 5 -INFdB
```

3. [VALUE] つまみで入力音声を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
AUX 1 SEND ( 1 / 1 )
AUDIO IN -INFdB
USB IN -INFdB

HDMI IN 1 -INFdB
HDMI IN 2 -INFdB
HDMI IN 3 -INFdB
HDMI IN 4 -INFdB
HDMI IN 5 -INFdB
```

4. [VALUE] つまみで AUX 1、AUX 2 バスへの送り量を調節し、[VALUE] つまみを押す。

5. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

[USB OUT] [MAIN] つまみに AUX バス出力の音量を割り当てて、AUX バス出力の音量を調節することができます (P.28)。

AUX バスに送る音声を設定する

AUX バスに「元の音声」または「エフェクトがかかった音声」のどちらかを送るかを選ぶことができます。

1. [MENU] ボタン → [AUDIO OUTPUT] → [AUX 1 BUS] または [AUX 2 BUS] を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
AUX 1 BUS ( 1 / 5 )
LEVEL 0.0dB
MUTE OFF
SOLO OFF
DELAY 0.0msec(0.0frame)
AUX 1 SEND LEVEL ENTER
AUX 1 SEND POINT ENTER
```

2. [VALUE] つまみで [AUX 1 SEND POINT] または [AUX 2 SEND POINT] を選び、[VALUE] つまみを押す。

AUX 1、2 BUS SEND POINT メニューが表示されます。

```
AUX 1 SEND POINT ( 1 / 1 )
AUDIO IN PRE FADER
USB IN PRE FADER

HDMI IN 1 PRE FADER
HDMI IN 2 PRE FADER
HDMI IN 3 PRE FADER
HDMI IN 4 PRE FADER
HDMI IN 5 PRE FADER
```

3. [VALUE] つまみで入力音声を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
AUX 1 SEND POINT ( 1 / 1 )
AUDIO IN PRE FADER
USB IN PRE FADER

HDMI IN 1 PRE FADER
HDMI IN 2 PRE FADER
HDMI IN 3 PRE FADER
HDMI IN 4 PRE FADER
HDMI IN 5 PRE FADER
```

4. [VALUE] つまみで [DRY]、[PRE FADER]、または [POST FADER] を選び、[VALUE] つまみを押す。

設定値	説明
DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。

5. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

注意

AUDIO KNOB MODE が [CATCH] (P.63) になっているときは、つまみの位置とレベルの値が一致していない場合は、レベルの値と一致するまで操作が無視されます。

ストリーミング用の映像／音声をパソコンに出力する

パソコンと接続して、V-1-4K でミックスした映像／音声を出力します。また、パソコンで再生した音声を入力することもできます。

インターネットに接続されたパソコンと配信用アプリをお使いいただくことで、インターネット・ライブ配信が可能になります。

V-1-4K からの映像／音声をパソコンで正しく視聴するには、USB ビデオ・クラスと USB オーディオ・クラスに対応したアプリをパソコンにインストールする必要があります。

※ 最新の動作条件については、ローランド・ホームページ (<https://proav.roland.com/jp/>) をご覧ください。

パソコンに映像／音声を出力する

1. V-1-4K の USB STREAM 端子とパソコンの USB 3.0 端子を USB 3.0 ケーブルで接続する。
2. V-1-4K の電源を入れる。
3. パソコンを起動する。
パソコンとの通信が確立すると、V-1-4K は、パソコンから USB ビデオ・デバイス／USB オーディオ・デバイスとして認識されます。V-1-4K を初めてパソコンに接続したとき、自動的に OS 標準のドライバがインストールされます。
4. V-1-4K を操作し、パソコンに出力する映像／音声を準備する。
5. パソコンで V-1-4K からの入力を確認する。

USB ビデオ・クラス／オーディオ・クラスに対応したアプリを起動し、V-1-4K からの映像／音声入力を確認します。

メモ

映像が乱れるなど動作が安定しないときは

[MENU] ボタン → [VIDEO OUTPUT] → 「USB OUT」 → 「CONNECTION RESET」を実行して、パソコンと V-1-4K を再接続してみてください。

映像フォーマットについて

USB 出力の映像フォーマットや圧縮方式は、出力先のライブ配信用アプリなどで変更することができます。

以下の映像フォーマットに対応しています。

USB OUT の フレーム・レート	映像フォーマット		
59.94Hz	1080/59.94p	720/59.94p	640 × 480/59.94p
60Hz	1080/60p	720/60p	640 × 480/60p
29.97Hz	1080/29.97p	720/29.97p	640 × 480/29.97p
30Hz	1080/30p	720/30p	640 × 480/30p
50Hz	1080/50p	720/50p	640 × 480/50p
25Hz	1080/25p	720/25p	640 × 480/25p
23.98Hz	1080/23.98p	720/23.98p	640 × 480/23.98p
24Hz	1080/24p	720/24p	640 × 480/24p

※ 非圧縮 (YUY2) と圧縮 (Motion JPEG) に対応しています。

ループバック機能を使う

パソコンからの音声を USB 経由で V-1-4K に入力し、他の音声とミックスして、再びパソコンに戻すことができます (ループバック機能)。

パソコンで再生した音楽にナレーションを付けてライブ配信したり、パソコンのアプリで録音したりすることができます。

パソコンで配信する

アプリ「Roland Live Streamer」を使って、V-1-4K から USB 出力された映像／音声をパソコンで配信することができます。

詳しい操作方法については、「Roland Live Streamer」の取扱説明書をご覧ください。



「Roland Live Streamer」は、ローランド・ホームページからダウンロードすることができます。

<https://proav.roland.com/jp/>

※ 圧縮 (Motion JPEG) には対応していません。

パソコンで録画する

アプリ「Roland Live Recorder」を使って、V-1-4K から USB 出力された映像／音声をパソコンで録画することができます。

詳しい操作方法については、「Roland Live Recorder」の取扱説明書をご覧ください。



「Roland Live Recorder」は、ローランド・ホームページからダウンロードすることができます。

<https://proav.roland.com/jp/>

※ 圧縮 (Motion JPEG) には対応していません。

ASSIGNABLE PADS を使う

ASSIGNABLE PADS の 8 つのパッド× 4 バンク (BANK A ~ D) に機能を割り当てて使うことができます。
ASSIGNABLE PADS を押すと、あらかじめ割り当てた機能が実行されます。



ASSIGNABLE PADS に機能を割り当てる

ASSIGNABLE PADS に機能を割り当てます。

1. [MENU] ボタン → [ASSIGNABLE PADS] を選び、[VALUE] つまみを押す。

ASSIGNABLE PADS (1 / 4)			
BANK A			
PAD A-1	OUT 3	ASSIGN	INPUT 1
PAD A-2	OUT 3	ASSIGN	INPUT 2
PAD A-3	OUT 3	ASSIGN	INPUT 3
PAD A-4	OUT 3	ASSIGN	INPUT 4
PAD A-5	OUT 3	ASSIGN	INPUT 5
PAD A-6	OUT 3	ASSIGN	INPUT 6
PAD A-7	OUT 3	ASSIGN	INPUT 7
PAD A-8	OUT 3	ASSIGN	INPUT 8

2. [VALUE] つまみで機能を割り当てたいパッドを選び、[VALUE] つまみを押す。

PAD A-1 (1 / 1)	
CATEGORY	VIDEO
FUNCTION	OUTPUT 3 ASSIGN
VALUE	INPUT 1
COPY	ENTER
SWAP	ENTER

3. [VALUE] つまみで [CATEGORY] を選び、[VALUE] つまみを押す。
4. [VALUE] つまみで割り当てる機能のカテゴリーを選び、[VALUE] つまみを押す。
5. [VALUE] つまみで [FUNCTION] を選び、[VALUE] つまみを押す。
6. [VALUE] つまみで割り当てる機能を選び、[VALUE] つまみを押す。

FUNCTION	説明
CATEGORY : N/A	
---	割り当てなし
CATEGORY : VIDEO	
OUTPUT 3 ASSIGN	OUTPUT 3 端子の出力映像を、指定した映像に切り替えます。
OUTPUT 4 ASSIGN	OUTPUT 4 端子の出力映像を、指定した映像に切り替えます。
DSK SOURCE	DSK 合成の映像ソースを、指定した映像に切り替えます。
CATEGORY : AUDIO	
INPUT MUTE	指定した入力音声のミュート機能をオン／オフします。
OUTPUT MUTE	指定した出力音声のミュート機能をオン／オフします。
INPUT SOLO	指定した入力音声のソロ機能をオン／オフします。
OUTPUT SOLO	指定した出力音声のソロ機能をオン／オフします。
HPF ON/OFF	指定した入力音声のハイパス・フィルターをオン／オフします。

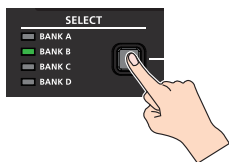
FUNCTION	説明
NOISE GATE	指定した入力音声のノイズ・ゲートをオン／オフします。
INPUT COMPRESSOR	指定した入力音声のコンプレッサーをオン／オフします。
INPUT EQUALIZER	指定した入力音声のイコライザーをオン／オフします。
OUTPUT EQUALIZER	指定した出力音声バスのイコライザーをオン／オフします。
OUTPUT GEQ	指定した出力音声バスのグラフィック・イコライザーをオン／オフします。
AUTO MIXING ON/OFF	オート・ミキシングをオン／オフします。
OUTPUT COMP/LIMIT	指定した出力音声バスのコンプレッサー／リミッターをオン／オフします。
CATEGORY : MEMORY	
---	パッドを押す： メモリーを呼び出します。 パッドを長押し： 現在の設定をメモリーに保存します。
CATEGORY : AUTO SWITCHING	
AUTO SWITCHING	オート・スイッチングをオン／オフします。
INPUT SCAN	オート・スイッチング時、指定した順番で映像が切り替わります。
CATEGORY : CAMERA	
MODE	カメラ・コントロール・モードをオン／オフします。
PAN	カメラを指定した方向（左または右）に向けます。
TILT	カメラを指定した方向（上または下）に向けます。
ZOOM	指定した動作で、カメラがズームします。
FOCUS	指定した位置に、ピントを合わせます。
AUTO FOCUS	オート・フォーカスをオン／オフします。
AUTO EXPOSURE	自動露光をオン／オフします。
PRESET RECALL	指定したプリセットを呼び出します。
CAMERA SELECT	操作対象のカメラを、指定したカメラに切り替えます。
CATEGORY : SYSTEM	
---	映像切り替え時の操作を、指定した操作モードに切り替えます。

7. [VALUE] つまみで [VALUE] を選び、[VALUE] つまみを押す。
8. [VALUE] つまみで設定値を選び、[VALUE] つまみを押す。
※ 設定値の詳細については、「15 : ASSIGNABLE PADS」(P.60)をご覧ください。
9. 手順 2 ~ 8 を繰り返し、各パッドに機能を割り当てる。
10. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

ASSIGNABLE PADS に割り当てた機能を使う

ASSIGNABLE PADS に割り当てた機能を実行します。

1. [SELECT] ボタンを押して、バンク A ～ D を切り替える。



2. パッド [1] ～ [8] を押す。

パッドに割り当てた機能が実行されます。



ASSIGNABLE PADS に割り当てた機能をコピーする／入れ替える

ASSIGNABLE PADS に割り当てた機能をコピー（COPY）したり入れ替え（SWAP）たりすることができます。

1. [MENU] ボタン → [ASSIGNABLE PADS] を選び、[VALUE] つまみを押す。

ASSIGNABLE PADS (1 / 4)			
BANK A			
PAD A-1	OUT 3 ASSIGN	INPUT 1	
PAD A-2	OUT 3 ASSIGN	INPUT 2	
PAD A-3	OUT 3 ASSIGN	INPUT 3	
PAD A-4	OUT 3 ASSIGN	INPUT 4	
PAD A-5	OUT 3 ASSIGN	INPUT 5	
PAD A-6	OUT 3 ASSIGN	INPUT 6	
PAD A-7	OUT 3 ASSIGN	INPUT 7	
PAD A-8	OUT 3 ASSIGN	INPUT 8	

2. [VALUE] つまみでコピー元（または入れ替え元）のパッドを選び、[VALUE] つまみを押す。

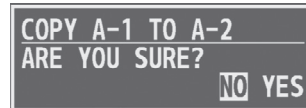
PAD A-1 (1 / 1)			
CATEGORY	VIDEO		
FUNCTION	OUTPUT 3 ASSIGN		
VALUE	INPUT 1		
COPY	ENTER		
SWAP	ENTER		

3. [VALUE] つまみで「COPY」または「SWAP」を選び、[VALUE] つまみを押す。

COPY PAD A-1 (1 / 4)			
BANK A			
PAD A-1	OUT 3 ASSIGN	INPUT 1	
PAD A-2	OUT 3 ASSIGN	INPUT 2	
PAD A-3	OUT 3 ASSIGN	INPUT 3	
PAD A-4	OUT 3 ASSIGN	INPUT 4	
PAD A-5	OUT 3 ASSIGN	INPUT 5	
PAD A-6	OUT 3 ASSIGN	INPUT 6	
PAD A-7	OUT 3 ASSIGN	INPUT 7	
PAD A-8	OUT 3 ASSIGN	INPUT 8	

4. [VALUE] つまみでコピー先（または入れ替え先）のパッドを選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。



※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。

5. [VALUE] つまみで「YES」を選び、[VALUE] つまみを押す。

パッドの設定のコピー／入れ替えが実行されます。完了すると、「COMPLETE」と表示されます。

6. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

工場出荷時の設定

工場出荷時、ASSIGNABLE PADS に割り当てられている機能は、以下のとおりです。

BANK-PAD	CATEGORY	FUNCTION	VALUE
A-1	VIDEO	OUTPUT 3 ASSIGN	INPUT 1
A-2			INPUT 2
A-3			INPUT 3
A-4			INPUT 4
A-5			INPUT 5
A-6			INPUT 6
A-7			INPUT 7
A-8			INPUT 8
B-1	VIDEO	OUTPUT 4 ASSIGN	INPUT 1
B-2			INPUT 2
B-3			INPUT 3
B-4			INPUT 4
B-5			INPUT 5
B-6			INPUT 6
B-7			INPUT 7
B-8			INPUT 8
C-1	MEMORY	---	MEMORY 1
C-2			MEMORY 2
C-3			MEMORY 3
C-4			MEMORY 4
C-5			MEMORY 5
C-6			MEMORY 6
C-7			MEMORY 7
C-8			MEMORY 8
D-1	CAMERA	PRESET RECALL	PRESET 1
D-2			PRESET 2
D-3			PRESET 3
D-4			PRESET 4
D-5			PRESET 5
D-6			PRESET 6
D-7			PRESET 7
D-8			PRESET 8

その他の機能

設定を保存する／呼び出す（メモリー）

映像／音声の設定や操作パネルの状態など、現在の設定を「メモリー」に保存し、必要なときに呼び出して使うことができます。
V-1-4K には、8 個のメモリーが用意されています。

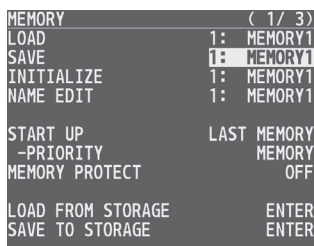
ラスト・メモリー機能について

V-1-4K にはラスト・メモリー機能が搭載されています。ラスト・メモリーは、電源を切る直前の状態を保存しておいて、次に起動したときに自動的に元の状態に復帰させる機能です。工場出荷時、ラスト・メモリー機能が有効になっています。

シーン・メモリーを呼び出して起動したいときは、[MENU] ボタン → 「MEMORY」 → 「START UP」で、メモリー番号を指定します。

メモリーに保存する

1. [MENU] ボタン → 「MEMORY」 → 「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで保存先のメモリー（1 ～ 8）を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。



3. [VALUE] つまみで「YES」を選び、[VALUE] つまみを押す。

選んだメモリーに、現在の設定が保存されます。完了すると「COMPLETE」と表示されます。

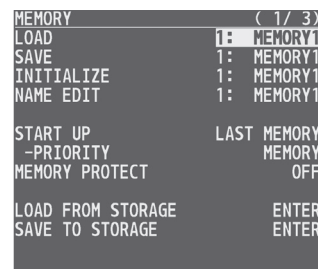
4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

- 設定の保存や初期化 (P.39) の操作を禁止して、メモリーの内容を保護することができます。
[MENU] ボタン → 「MEMORY」 → 「MEMORY PROTECT」を選び、「ON」に設定します。
- システムやネットワークなどの設定は、共通設定（本体に 1 つ）のため、メモリーに保存されません。
- ASSIGNABLE PADS の機能に「MEMORY」が設定されているときは、パッドを長押しすると、長押ししたパッドに現在の設定が保存されます (P.60)。
工場出荷時は、バンク C のパッド [1] ～ [8] に「MEMORY」の機能が割り当てられています。

メモリーを呼び出す

1. [MENU] ボタン → 「MEMORY」 → 「LOAD」を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで呼び出すメモリー（1 ～ 8）を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。



3. [VALUE] つまみで「YES」を選び、[VALUE] つまみを押す。

選んだメモリーに、保存されていた設定が呼び出されます。完了すると「COMPLETE」と表示されます。

※ メモリーの呼び出し中は、黒画面が表示されます。

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

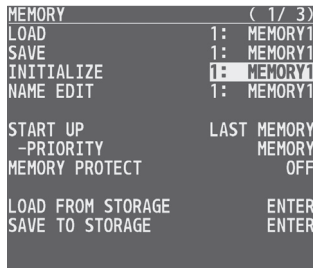
メモ

- メモリーを呼び出したときに、特定の設定を呼び出さないようにすることができます。
[MENU] ボタン → 「MEMORY」 → 「LOAD PARAMETERS」の項目を選び、項目ごとに設定を呼び出すかどうかを設定します。
- ASSIGNABLE PADS の機能に「MEMORY」が設定されているときは、パッドを押してメモリーを呼び出すことができます (P.60)。
工場出荷時は、バンク C のパッド [1] ～ [8] に「MEMORY」の機能が割り当てられています。

メモリーを初期化する

メモリーの設定内容を初期化して、消去します。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY] → [INITIALIZE] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで初期化したいメモリー (1 ～ 8) を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。



3. [VALUE] つまみで [YES] を選び、[VALUE] つまみを押す。

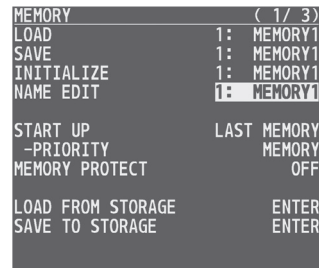
選んだメモリーが初期化されます。完了すると「COMPLETE」と表示されます。

4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモリーの名前を変更する

メモリーの名前を変更します。各メモリーに最大 8 文字までの名前を付けることができます。

1. [MENU] ボタン → [MEMORY] → [NAME EDIT] を選び、[VALUE] つまみを押す。



2. [VALUE] つまみで名前を変更するメモリー (1 ～ 8) を選び、[VALUE] つまみを押す。

MEMORY NAME 画面が表示されます。



3. [VALUE] つまみで実行する項目を選び、[VALUE] つまみを押す。

項目	説明
CLOSE	メモリー名を保存して、MEMORY NAME 画面を閉じます。
INIT	メモリー名を初期化します。
(メモリー名)	メモリー名を編集します (手順 4 へ)。

4. メモリー名を入力する。

- ① [VALUE] つまみで、カーソルを移動させる。

文字のない位置にカーソルを移動させると、文字数が増えます。

- ② [VALUE] つまみを押して、カーソル位置の文字を反転させる。

- ③ [VALUE] つまみで文字を変更し、[VALUE] つまみを押して確定させる。

- [MENU] (EXIT) ボタンを押すと、カーソル位置の文字が削除されます。

5. 入力を終えたら [VALUE] つまみで [CLOSE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。

6. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

USB メモリーにメモリーを保存する

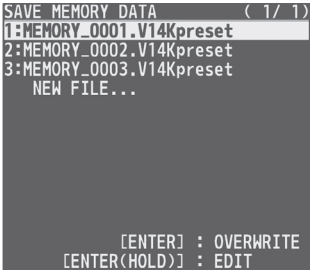
V-1-4K に接続した USB メモリーに、メモリー（1 ～ 8）を 1 つのファイル（.V14Kpreset）にして保存することができます。
保存したメモリー・ファイルは、必要なときに USB メモリーから本体に呼び出して使うことができます。

注意

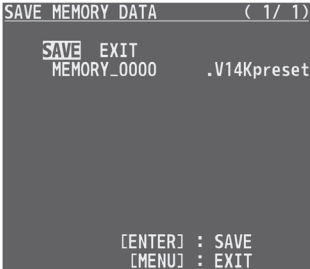
- USB メモリーを初めて使うときは、必ず V-1-4K でフォーマットしてください（P.10）。
- 「PLEASE WAIT」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。
- USB メモリーが認識されるまでに、時間がかかる場合があります。

新規保存

1. USB HOST 端子に、USB メモリーを接続する。
2. [MENU] ボタン → [MEMORY] → [SAVE TO STORAGE] を選び、[VALUE] つまみを押す。



3. [VALUE] で「NEW FILE...」を選び、[VALUE] つまみを押す。



4. [VALUE] つまみで実行する項目を選び、[VALUE] つまみを押す。

項目	説明
SAVE	ファイルを保存して、SAVE MEMORY DATA 画面を閉じます。
EXIT	操作を中止して、ファイル選択画面に戻ります。
(ファイル名)	ファイル名を編集します（手順 5 へ）。

5. ファイル名を入力する。
- 1 [VALUE] つまみで、カーソルを移動させる。
文字のない位置にカーソルを移動させると、文字数が増えます。

2 [VALUE] つまみを押して、カーソル位置の文字を反転させる。

3 [VALUE] つまみで文字を変更し、[VALUE] つまみを押して確定させる。
 - [MENU]（EXIT）ボタンを押すと、カーソル位置の文字が削除されます。
 - 入力できる文字数は、16 文字までです。

6. ファイル名の入力が終わったら、[VALUE] つまみで「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。
確認メッセージが表示されます。
※ 中止するときは、[MENU]（EXIT）ボタンを押します。

SAVE MEMORY_0004.V14
ARE YOU SURE?
NO YES

7. [VALUE] つまみで「YES」を選び、[VALUE] つまみを押す。
メモリー・ファイルが保存されます。完了すると「COMPLETE」と表示されます。

8. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。
- 40

上書き保存

1. USB HOST 端子に、USB メモリーを接続する。
2. [MENU] ボタン → [MEMORY] → [SAVE TO STORAGE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
SAVE MEMORY DATA ( 1 / 1 )
1:MEMORY_0001.V14Kpreset
2:MEMORY_0002.V14Kpreset
3:MEMORY_0003.V14Kpreset
NEW FILE...

[ENTER] : OVERWRITE
[ENTER(HOLD)] : EDIT
```

3. [VALUE] つまみで上書き保存するファイルを選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

- ※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。
- ※ [VALUE] つまみを長押しすると、ファイル名を引き継いだ状態で編集画面が開きます。

```
SAVE MEMORY_0003.V14
ARE YOU SURE?
NO YES
```

4. [VALUE] つまみで「YES」を選び、[VALUE] つまみを押す。
メモリー・ファイルが上書き保存されます。完了すると「COMPLETE」と表示されます。
5. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

保存した設定を呼び出す

USB メモリーに保存されているメモリーの設定を呼び出します。設定を呼び出すと、メモリーの設定は上書きされます。

1. USB HOST 端子に、USB メモリーを接続する。
2. [MENU] ボタン → [MEMORY] → [LOAD FROM STORAGE] を選び、[VALUE] つまみを押す。

```
LOAD MEMORY DATA ( 1 / 1 )
1:MEMORY_0001.V14Kpreset
2:MEMORY_0002.V14Kpreset
3:MEMORY_0003.V14Kpreset
```

3. [VALUE] つまみで呼び出すメモリー・ファイルを選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

- ※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。

```
LOAD MEMORY_0001.V14
ARE YOU SURE?
NO YES
```

4. [VALUE] つまみで「YES」を選び、[VALUE] つまみを押す。
メモリーの設定が呼び出されます。完了すると「COMPLETE」と表示されます。
5. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

本体の設定をバックアップ／リストアする

V-1-4K に接続した USB メモリーに、本体の設定を 1 つのファイル（.V14K）にしてバックアップすることができます。
バックアップした設定ファイルは、必要ときにメモリーから本体にリストア（復元）して使うことができます。

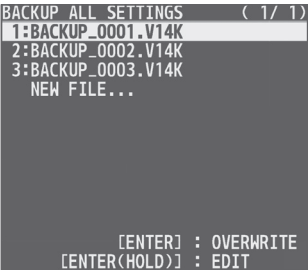
注意

- USB メモリーを初めて使うときは、必ず V-1-4K でフォーマットしてください（P.10）。
- 「PLEASE WAIT」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。
- USB メモリーが認識されるまでに、時間がかかる場合があります。

バックアップする

新規保存

- 1. USB HOST 端子に、USB メモリーを接続する。
- 2. [MENU] ボタン → 「USB FLASH DRIVE」 → 「BACKUP ALL SETTINGS」を選び、[VALUE] つまみを押す。



- 3. [VALUE] で「NEW FILE...」を選び、[VALUE] つまみを押す。



- 4. [VALUE] つまみで実行する項目を選び、[VALUE] つまみを押す。

項目	説明
SAVE	ファイルを保存して、BACKUP ALL SETTINGS 画面を閉じます。
EXIT	操作を中止して、ファイル選択画面に戻ります。
(ファイル名)	ファイル名を編集します（手順 5 へ）。

- 5. ファイル名を入力する。

- ① [VALUE] つまみで、カーソルを移動させる。
文字のない位置にカーソルを移動させると、文字数が増えます。
- ② [VALUE] つまみを押して、カーソル位置の文字を反転させる。
- ③ [VALUE] つまみで文字を変更し、[VALUE] つまみを押して確定させる。
 - [MENU] (EXIT) ボタンを押すと、カーソル位置の文字が削除されます。
 - 入力できる文字数は、16 文字までです。

- 6. ファイル名の入力が終わったら、[VALUE] つまみで「SAVE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。



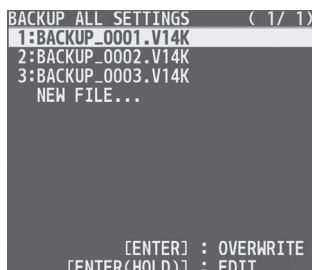
- 7. [VALUE] つまみで「YES」を選び、[VALUE] つまみを押す。
バックアップ・ファイルが保存されます。完了すると「COMPLETE」と表示されます。
- 8. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

SYSTEM メニューの「TEST PATTERN」や「TEST TONE」など、一部の設定はファイルに保存されません。

上書き保存

1. USB HOST 端子に、USB メモリーを接続する。
2. [MENU] ボタン → [USB FLASH DRIVE] → [BACKUP ALL SETTINGS] を選び、[VALUE] つまみを押す。



3. [VALUE] つまみで上書き保存するファイルを選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

- ※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。
- ※ [VALUE] つまみを長押しすると、ファイル名を引き継いだ状態で編集画面が開きます。



4. [VALUE] つまみで「YES」を選び、[VALUE] つまみを押す。
メモリー・ファイルが上書き保存されます。完了すると「COMPLETE」と表示されます。
5. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

リストア（復元）する

USB メモリーに保存されている本体の設定をリストア（復元）します。リストアすると、現在の設定は上書きされます。

1. USB HOST 端子に、USB メモリーを接続する。
2. [MENU] ボタン → [USB FLASH DRIVE] → [RESTORE ALL SETTINGS] を選び、[VALUE] つまみを押す。



3. [VALUE] つまみでリストアするファイルを選び、[VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

- ※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。



4. [VALUE] つまみで「YES」を選び、[VALUE] つまみを押す。
設定がリストアされます。完了すると「COMPLETE」と表示されます。

PTZ カメラをリモート・コントロールする

LAN CONTROL 端子を介して最大 5 台までカメラを接続し、V-1-4K からリモート・コントロールします。

JVC、Panasonic、Canon、PTZOptics、Avonic 製のカメラや VISCA over IP 対応カメラ（Sony など）を操作することができます。

※ お使いのカメラの取扱説明書も併せてご覧ください。

カメラのネットワーク設定をする

V-1-4K からカメラを操作するために、カメラのネットワーク設定をします。最大 5 台までのカメラを登録することができます。

1. [MENU] ボタン → [CAMERA CONTROL] → 以下のメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押す。

CAMERA CONTROL (1 / 2)	
CAMERA ID	CAMERA 1
PROTOCOL	JVC
IP ADDRESS	192.168. 0.101
PORT	80
LOGIN NAME	ENTER
PASSWORD	ENTER
CAMERA PRESET RECALL	PRESET 1
-ALL CAMERAS RECALL	OFF
CAMERA PRESET STORE	PRESET 1

メニュー項目	説明
CAMERA ID	操作対象のカメラを選びます。
PROTOCOL	カメラのプロトコルを設定します。
IP ADDRESS	カメラの IP アドレスを入力します。
PORT	PROTOCOL が [PTZOptics] [Avonic] のときに、ネットワーク・ポートを設定します。
LOGIN NAME	PROTOCOL が [JVC] のときに、カメラと接続するために必要なログイン名を入力します。 ログイン名を入力したら、[VALUE] つまみで [CLOSE] を選び、[VALUE] つまみを押します。
PASSWORD	PROTOCOL が [JVC] のときに、カメラと接続するために必要なパスワードを入力します。 ログイン名を入力したら、[VALUE] つまみで [CLOSE] を選び、[VALUE] つまみを押します。

2. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
3. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

カメラの設定をプリセットに登録する

カメラの位置やフォーカス設定などを、プリセットとして最大 100 個まで登録することができます。

登録したプリセットは、必要なときに呼び出すことができます。

※ プリセットはカメラ本体に保存されます。保存される設定は、使用するカメラによって異なります。

1. [MENU] ボタン → [CAMERA CONTROL] → [CAMERA ID] を選び、[VALUE] つまみを押す。

CAMERA CONTROL (1 / 2)	
CAMERA ID	CAMERA 1
PROTOCOL	JVC
IP ADDRESS	192.168. 0.101
PORT	80
LOGIN NAME	ENTER
PASSWORD	ENTER
CAMERA PRESET RECALL	PRESET 1
-ALL CAMERAS RECALL	OFF
CAMERA PRESET STORE	PRESET 1

2. [VALUE] つまみで操作対象のカメラを選び、[VALUE] つまみを押す。

CAMERA CONTROL (1 / 2)	
CAMERA ID	CAMERA 2
PROTOCOL	Canon PTZ
IP ADDRESS	192.168. 0.102
PORT	80
LOGIN NAME	---
PASSWORD	---
CAMERA PRESET RECALL	PRESET 1
-ALL CAMERAS RECALL	OFF
CAMERA PRESET STORE	PRESET 1

3. [VALUE] つまみで以下のメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押す。

CAMERA CONTROL (2 / 2)	
PAN	RIGHT
TILT	UP
SPEED	12
ZOOM	TELE(SLOW)
FOCUS	---
AUTO FOCUS	ON
AUTO EXPOSURE	OFF
TALLY CH	HDMI 1

メニュー項目	説明
PAN	水平方向の向きを調節します。(*1)
TILT	垂直方向の向きを調節します。(*1)
SPEED	カメラの向きを変えときの速度を調節します。
ZOOM	ズームの動作を設定します。(*1)
FOCUS	ピントを調節します。(*1)
AUTO FOCUS	オート・フォーカスのオン／オフを設定します。
AUTO EXPOSURE	自動露出のオン／オフを設定します。
TALLY CH	カメラの映像が入力されている端子を指定します。 V-1-4K からカメラの映像が最終出力されると、カメラのタリー・ランプが点灯します。

(*1) [VALUE] つまみを押している間、カメラを操作することができます。

4. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
5. [VALUE] つまみで、1 ページ前の画面に戻る。
6. [VALUE] つまみで「CAMERA PRESET STORE」を選び、[VALUE] つまみを押す。

```

CAMERA CONTROL ( 1 / 2 )
CAMERA ID      CAMERA 2
PROTOCOL       Canon PTZ
IP ADDRESS     192.168. 0.102
PORT           80
LOGIN NAME     ---
PASSWORD       ---

CAMERA PRESET RECALL    PRESET 1
-ALL CAMERAS RECALL    OFF
CAMERA PRESET STORE     PRESET 9

```

7. [VALUE] つまみで登録先のプリセット (PRESET 1 ~ 100) を選び、[VALUE] つまみを押す。
カメラの設定がプリセットに登録されます。
8. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

プリセットを呼び出す

カメラに登録したプリセットを呼び出します。複数のカメラから同時にプリセットを呼び出すこともできます。

1. [MENU] ボタン → 「CAMERA CONTROL」 → 以下のメニュー項目を選び、[VALUE] つまみを押す。

```

CAMERA CONTROL ( 1 / 2 )
CAMERA ID      CAMERA 1
PROTOCOL       JVC
IP ADDRESS     192.168. 0.101
PORT           80
LOGIN NAME     ENTER
PASSWORD       ENTER

CAMERA PRESET RECALL    PRESET 1
-ALL CAMERAS RECALL    OFF
CAMERA PRESET STORE     PRESET 1

```

■ 1 台のカメラから呼び出すとき

メニュー項目	説明
CAMERA ID	プリセットを呼び出したいカメラを選びます。
ALL CAMERAS RECALL	「OFF」に設定します。

■ すべてのカメラから呼び出すとき

メニュー項目	説明
ALL CAMERAS RECALL	「ON」に設定します。

2. [VALUE] つまみで設定値を変更し、[VALUE] つまみを押す。
3. [VALUE] つまみで「CAMERA PRESET RECALL」を選び、[VALUE] つまみを押す。

```

CAMERA CONTROL ( 1 / 2 )
CAMERA ID      CAMERA 1
PROTOCOL       JVC
IP ADDRESS     192.168. 0.101
PORT           80
LOGIN NAME     ENTER
PASSWORD       ENTER

CAMERA PRESET RECALL    PRESET 1
-ALL CAMERAS RECALL    OFF
CAMERA PRESET STORE     PRESET 1

```

4. [VALUE] つまみで呼び出したいプリセット (PRESET 1 ~ 100) を選び、[VALUE] つまみを押す。
カメラから設定が呼び出されます。
5. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

ASSIGNABLE PADS (P.36) にカメラ・コントロール機能を割り当てて、カメラを操作したり、プリセットを呼び出したりすることができます。

工場出荷時は、バンク D のパッド [1] ~ [8] にプリセットの呼び出しが割り当てられています。

スマート・タリーを使う

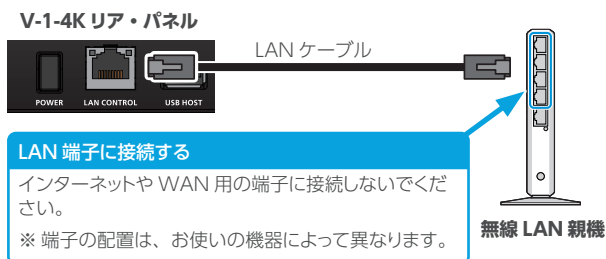
ローランド独自のスマート・タリー・システムは、V-1-4K に接続されたスマート・デバイスやパソコンをタリー・ボックスに変身させる機能です。無線 LAN アクセス・ポイントを使えば、スマート・デバイスやパソコンにタリーを表示することができます。

無線 LAN 親機を介して接続する

無線 LAN 親機を介して、Wi-Fi 対応のスマート・デバイスやパソコンを無線 LAN (Wi-Fi) で接続します。

※ 複数のスマート・デバイスやパソコンを接続すると、動作が遅くなる場合があります。

1. V-1-4K の LAN CONTROL 端子と無線 LAN 親機の LAN 端子を LAN ケーブルで接続する。



2. 無線 LAN 親機の電源を入れ、スマート・デバイスやパソコンを無線 LAN (Wi-Fi) で接続する。

無線 LAN 親機の DHCP 機能を有効にしてください。

※ 無線 LAN (Wi-Fi) の接続方法については、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。

3. V-1-4K の電源を入れる。

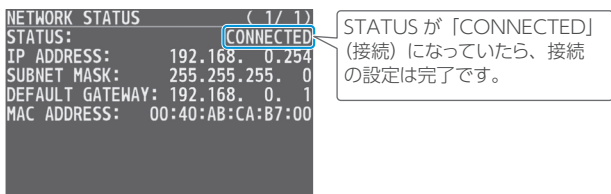
4. [MENU] ボタン → [NETWORK] → [LAN SETUP] → [CONFIGURE] を [USING DHCP] に設定し、[VALUE] つまみを押す。

IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイが自動取得されます。

5. [MENU] (EXIT) ボタンを押して、1 つ前の画面に戻る。

6. [VALUE] つまみで [NETWORK STATUS] を選び、[VALUE] つまみを押す。

NETWORK STATUS 画面が表示されます。



メモ

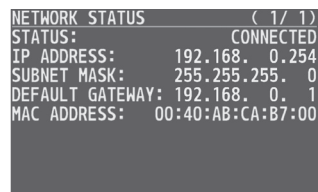
IP アドレスを固定すると、常に同じ IP アドレスでスマート・タリーを起動することができます。

固定 IP アドレスの設定方法については、お使いの無線 LAN 親機の取扱説明書をお読みください。

スマート・タリーを起動する

1. V-1-4K の [MENU] ボタン → [NETWORK] → [NETWORK STATUS] を選び、[VALUE] つまみを押す。

NETWORK STATUS 画面が表示されます。



2. スマート・デバイスやパソコンでブラウザを起動する。

3. ブラウザーの URL 入力欄に NETWORK STATUS 画面に表示されている IP アドレスを入力して、Web サイトにアクセスする。

スマート・タリーの設定画面が表示されます。



4. 「Channel Status (Tally)」で、スマート・デバイスやパソコンに割り当てる映像ソースを選ぶ。

タリー情報を表示する画面に切り替わります。

V-1-4K から出力される映像ソースに応じて、タリー情報が表示されます。



注意

- ネットワーク環境によっては、無線 LAN (Wi-Fi) の通信速度や接続が不安定になり、タリー情報が正しく表示されない場合があります。その場合は、ページを再読み込みしてください。
- お使いのブラウザのバージョンによっては、タリー情報が正しく表示されない場合があります。できる限りブラウザを最新のバージョンにして、お使いください。

誤操作を防止する（パネル・ロック）

操作パネルのボタンやつまみの操作を禁止して、誤操作を防ぐことができます（パネル・ロック機能）。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [PANEL LOCK] を選び、[VALUE] つまみを押す。

PANEL LOCK メニューが表示されます。

PANEL LOCK	(1 / 5)
ALL	OFF
PGM/A ALL	OFF
-PGM/A 1 BUTTON	OFF
-PGM/A 2 BUTTON	OFF
-PGM/A 3 BUTTON	OFF
-PGM/A 4 BUTTON	OFF
-PGM/A 5 BUTTON	OFF
-PGM/A 6 BUTTON	OFF
-PGM/A 7 BUTTON	OFF
-PGM/A 8 BUTTON	OFF

2. [VALUE] つまみでパネル・ロックの対象を選び、[VALUE] つまみを押す。

メニュー項目	説明
ALL	すべての操作子
PGM/A ALL	PGM/A クロスポイント・ボタン全部
- PGM/A 1 ～ 8 BUTTON	PGM/A クロスポイント [1] ～ [8] ボタン
PST/B ALL	PST/B クロスポイント・ボタン全部
- PST/B 1 ～ 8 BUTTON	PST/B クロスポイント [1] ～ [8] ボタン
TRANSITION BUTTON	[TRANSITION] ボタン
CUT BUTTON	[CUT] ボタン
AUTO BUTTON	[AUTO] ボタン
VIDEO FADER	ビデオ・フェーダー
ASSIGNABLE PADS ALL	ASSIGNABLE PADS 全部
ASSIGNABLE PAD BUTTON	ASSIGNABLE PADS [1] ～ [8]
- BANK A ～ D BUTTON	[SELECT] ボタン
PinP&KEY SPLIT ALL	[PinP & KEY] [SPLIT] ボタン両方
- PinP&KEY BUTTON	[PinP & KEY] ボタン
- SPLIT BUTTON	[SPLIT] ボタン
- CONTROL 1, 2 KNOB	[CONTROL 1]、[CONTROL 2] つまみ
DSK ALL	DSK セクションのつまみとボタン全部
- LEVEL KNOB	DSK [LEVEL] つまみ
- GAIN KNOB	DSK [GAIN] つまみ
- PVW BUTTON	DSK [PVW] ボタン
- PGM BUTTON	DSK [PGM] ボタン
AUDIO MIXER ALL	AUDIO セクションのつまみ全部
- AUDIO IN KNOB	[AUDIO IN] つまみ
- USB OUT KNOB	[USB OUT] つまみ
- MAIN KNOB	[MAIN] つまみ
CAPTURE IMAGE BUTTON	[CAPTURE IMAGE] ボタン
OUTPUT FADE BUTTON	[OUTPUT FADE] ボタン

3. [VALUE] つまみでパネル・ロックの有効（ON）／無効（OFF）を設定し、[VALUE] つまみを押す。
4. [MENU] ボタンを数回押して、メニューを閉じる。

メモ

ロックされたボタンやつまみなどを操作すると、[MENU] ボタンが点滅します。

設定を工場出荷時の状態に戻す（ファクトリー・リセット）

V-1-4K で設定した内容を工場出荷時の状態に戻します。

手順どおりに操作をしても、取扱説明書に記載されている内容と違う動作をするときは、ファクトリー・リセットを実行してみてください。

注意

- ファクトリー・リセットを実行すると、それまでに設定した内容や V-1-4K に保存されているデータ（メモリー、静止画）は、すべて失われます。
- 「PLEASE WAIT」というメッセージが表示されている間は、電源を切らないでください。

1. [MENU] ボタン → [SYSTEM] → [FACTORY RESET] を選ぶ。

SYSTEM	(4 / 4)
TEST PATTERN	OFF
TEST TONE	
-LEVEL	OFF
-FREQUENCY L	1kHz
-FREQUENCY R	1kHz
VIDEO FADER CALIBRATE	ENTER
FACTORY RESET	EXEC
VERSION	1.00.056

2. [VALUE] つまみを押す。

確認メッセージが表示されます。

※ 中止するときは、[MENU] (EXIT) ボタンを押します。

FACTORY RESET
ARE YOU SURE?
NO YES

3. [VALUE] つまみで「YES」を選び、[VALUE] つまみを押す。
ファクトリー・リセットが実行されます。完了すると「COMPLETED」と表示されます。

V-1-4K のリモート・コントロール

V-1-4K のリモート・コントロールには、専用アプリを使う方法と LAN コマンドを使う方法があります。

専用アプリ

「V-1-4K RCS」 「V-1-4K Remote」

専用アプリは、パソコン用に「V-1-4K RCS」、iPad 用に「V-1-4K Remote」が用意されています。

それぞれローランド・ホームページからダウンロードできます。

<https://proav.roland.com/jp/>

※ 詳しい接続方法については、「V-1-4K RCS」（パソコン用）または「V-1-4K Remote」（iPad 用）の接続ガイドをご覧ください。

V-1-4K RCS (Windows/Mac)

パソコンから専用アプリ「V-1-4K RCS」を使って、V-1-4K を操作することができます。

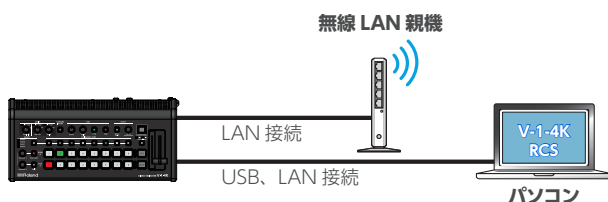
接続は有線、無線の両方に対応しています。

無線接続

- 無線 LAN 親機を介した接続 (Wi-Fi)

有線接続

- USB 接続 (USB Type-C® ケーブル)
- LAN 接続 (LAN ケーブル)



V-1-4K Remote

iPad から専用アプリ「V-1-4K Remote」を使って、V-1-4K を操作することができます。

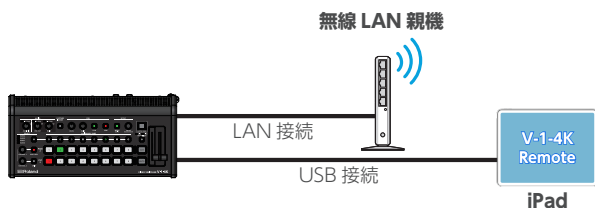
接続は有線、無線の両方に対応しています。

無線接続

無線 LAN 親機を介した接続 (Wi-Fi)

有線接続

USB 接続 (USB Type-C® ケーブル、Lightning-USB 3 カメラアダプタ)



LAN コマンド

V-1-4K は、LAN のリモート・インターフェース通信に対応しています。USB STREAM 端子や LAN CONTROL 端子を利用して、制御機器から V-1-4K に特定のコマンドを送信することで、V-1-4K を操作することができます。

各インターフェースの詳細や LAN コマンド一覧は、『リモート・コントロール・ガイド』（Web）をご覧ください。

https://roland.cm/v-1-4k_om

メモ

MIDI インプリメンテーション

V-1-4K は、MIDI リモート・コントロールに対応しています。

詳しくは、『リモート・コントロール・ガイド』（Web）の「MIDI インプリメンテーション」をご覧ください。

1: VIDEO ASSIGN

メニュー項目	設定値	説明
ROI MODE (P.53) = OFF のとき		
INPUT 1 ~ 5	HDMI IN 1 ~ 5、STILL 1 ~ 2、BLACK、N/A 初期値は、以下のとおりです。 INPUT 1: HDMI IN 1 INPUT 2: HDMI IN 2 INPUT 3: HDMI IN 3 INPUT 4: HDMI IN 4 INPUT 5: HDMI IN 5	クロスポイント [1] ~ [5] ボタンに割り当てる映像ソース（入力映像、静止画）を設定します。
INPUT 6 ~ 8	STILL 1 ~ 2、BLACK、N/A 初期値は、以下のとおりです。 INPUT 6: STILL 1 INPUT 7: STILL 2 INPUT 8: BLACK	クロスポイント [6] ~ [8] ボタンに割り当てる静止画を設定します。
HDMI OUT 3 (*1)	OUTPUT 3 端子に割り当てる映像バスを設定します。	
	PROGRAM	最終出力映像
	PREVIEW	プレビュー出力映像
	INPUT 1 ~ 8	クロスポイント [1] ~ [8] ボタンに割り当てた映像
- FADE TIME	0.0 ~ 2.0sec	フェードイン/アウトにかかる時間を設定します。 HDMI OUT 3 に割り当てられた映像を切り替えたときに、フェードイン/アウトします。
HDMI OUT 4/ USB OUT (*1)	OUTPUT 4 端子 / USB STREAM 端子に割り当てる映像バスを設定します。	
	PROGRAM	最終出力映像
	PREVIEW	プレビュー出力映像
	INPUT 1 ~ 8	クロスポイント [1] ~ [8] ボタンに割り当てた映像
- FADE TIME	0.0 ~ 2.0sec	フェードイン/アウトにかかる時間を設定します。 HDMI OUT 4/USB OUT に割り当てられた映像を切り替えたときに、フェードイン/アウトします。
ROI MODE (P.53) = ON のとき		
INPUT 1	ROI 1、STILL 1 ~ 2、BLACK、N/A 初期値: ROI 1	クロスポイント [1] ボタンに割り当てる映像ソース（ROI 1、静止画）を設定します。 ※ ROI 1 以外を選んだときは、マルチビューには反映されません。
INPUT 2	ROI 2、STILL 1 ~ 2、BLACK、N/A 初期値: ROI 2	クロスポイント [2] ボタンに割り当てる映像ソース（ROI 2、静止画）を設定します。 ※ ROI 2 以外を選んだときは、マルチビューには反映されません。
INPUT 3	ROI 3、STILL 1 ~ 2、BLACK、N/A 初期値: ROI 3	クロスポイント [3] ボタンに割り当てる映像ソース（ROI 3、静止画）を設定します。 ※ ROI 3 以外を選んだときは、マルチビューには反映されません。
INPUT 4	ROI 4、STILL 1 ~ 2、BLACK、N/A 初期値: ROI 4	クロスポイント [4] ボタンに割り当てる映像ソース（ROI 4、静止画）を設定します。 ※ ROI 4 以外を選んだときは、マルチビューには反映されません。
INPUT 5 ~ 8	STILL 1 ~ 2、BLACK、N/A 初期値は、以下のとおりです。 INPUT 5: HDMI IN 2 INPUT 6: HDMI IN 3 INPUT 7: HDMI IN 4 INPUT 8: HDMI IN 5	クロスポイント [5] ~ [8] ボタンに割り当てる静止画を設定します。
HDMI OUT 3 (*1)	OUTPUT 3 端子に割り当てる映像バスを設定します。	
	PROGRAM	最終出力映像
	PREVIEW	プレビュー出力映像
	INPUT 1 ~ 8	クロスポイント [1] ~ [8] ボタンに割り当てた映像
- FADE TIME	0.0 ~ 2.0sec	フェードイン/アウトにかかる時間を設定します。 HDMI OUT 3 に割り当てられた映像を切り替えたときに、フェードイン/アウトします。
HDMI OUT 4/ USB OUT (*1)	OUTPUT 4 端子 / USB STREAM 端子に割り当てる映像バスを設定します。	
	PROGRAM	最終出力映像
	PREVIEW	プレビュー出力映像
	INPUT 1 ~ 8	クロスポイント [1] ~ [8] ボタンに割り当てた映像
- FADE TIME	0.0 ~ 2.0sec	フェードイン/アウトにかかる時間を設定します。 HDMI OUT 4/USB OUT に割り当てられた映像を切り替えたときに、フェードイン/アウトします。

(*1) 設定の変更は、[VALUE] つまみを押して確定するまで反映されません。

2: VIDEO INPUT

メニュー項目	設定値	説明
HDMI IN 1 ～ 5	INPUT 1 ～ 5 端子から入力される映像を調節します	
INPUT STATUS	ENTER	入力映像の情報（フォーマットやサイズなど）を表示します。
DYNAMIC RANGE	ダイナミック・レンジを設定します。	
	AUTO	入力フォーマットに応じて、ダイナミック・レンジを自動で設定します。
	SDR	スタンダード・ダイナミック・レンジ
	HDR (PQ)	ハイ・ダイナミック・レンジ: PQ 方式
	HDR (HLG)	ハイ・ダイナミック・レンジ: HLG 方式
EDID (*2)	INTERNAL 1080i50、1080i59.94/60 1080p23.98/24、1080p25 1080p29.97/30、1080p50 1080p59.94/60 2160p(UHD)23.98/24 2160p(UHD)25 2160p(UHD)29.97/30 2160p(UHD)50 2160p(UHD)59.94/60 2160p(UHD)50(YUV420) 2160p(UHD)59.94/60(YUV420)	入力フォーマット (EDID) を設定します。 「INTERNAL」に設定すると、V-1-4K に入力できるすべてのフォーマットの EDID 情報を送信します。 EDID とは？ EDID とは、V-1-4K をソース機器に接続したときに、V-1-4K からソース機器に送信されるデータです。EDID には、V-1-4K に入力できるフォーマット（解像度、カラー・スペース、色深度）や音声情報などのデータが記録されています。 ソース機器は、受信した EDID 情報を元に V-1-4K に最適な映像を出力します。
	ZOOM	10.0 ～ 1000.0%
	拡大／縮小率を設定します。	
	スケーリング・タイプを設定します。	
	FULL	入力映像のアスペクト比に関係なく、常に全画面に拡大して表示します。
	LETTERBOX	アスペクト比を保持したまま、全画面が表示されるように、入力映像を拡大／縮小します。
	CROP	アスペクト比を保持したまま、出力映像に余白がないように、入力映像を拡大／縮小します。はみ出した映像は、カットされます。
	DOT BY DOT	スケーリングをしません。
	MANUAL	以下の「MANUAL SIZE H」と「MANUAL SIZE V」の設定に従って、スケーリングします。
	- MANUAL SIZE H (*3)	-19200 ～ 19200 (*2)
	- MANUAL SIZE V (*3)	-10800 ～ 10800 (*2)
POSITION H (*1)	-19200 ～ 19200	水平方向の位置を調節します。
POSITION V (*1)	-10800 ～ 10800	垂直方向の位置を調節します。

(*1) 「Roland FILL+KEY」の「MODE」が「ON」のときは、設定が無効になります（HDMI IN 5 のみ）。

(*2) 設定の変更は、[VALUE] つまみを押して確定するまで反映されません。

(*3) 「SCALING TYPE」が「MANUAL」のときに設定することができます。

3: VIDEO OUTPUT

メニュー項目	設定値	説明
HDMI OUT 1、2、5	OUTPUT 1、2、5 端子から出力される映像の情報を表示します。	
OUTPUT STATUS	---	接続状態や出力映像の情報を表示します。 接続がない場合は、「NOT CONNECTED」と表示されます。
HDMI OUT 3、4	OUTPUT 3、4 端子から出力される映像の情報を表示します。	
OUTPUT STATUS	---	接続状態や出力映像の情報を表示します。 接続がない場合は、「NOT CONNECTED」と表示されます。
COLOR GAMUT	SYSTEM、REC.709	出力する映像のカラー・ガマット（色域）を設定します。 「SYSTEM」のときは、SYSTEM メニューの COLOR GAMUT (P.63) の設定に従います。
DYNAMIC RANGE	出力する映像のダイナミック・レンジを設定します。	
	SYSTEM	SYSTEM メニューの DYNAMIC RANGE (P.63) の設定に従います。
	SDR	スタンダード・ダイナミック・レンジ
1080p DOWN CONVERT	OFF、ON	1080p へのダウン・コンバートのオン／オフを設定します。 ※ SYSTEM FORMAT (P.63) が「1080p」のときは無効です。
USB OUT	USB STREAM 端子から出力される映像を調節します。 ※ USB 出力の映像フォーマットや圧縮方式は、出力先のライブ配信用アプリなどで変更することができます。	
OUTPUT STATUS	---	接続状態や出力映像の情報を表示します。 パソコンと未接続のときは、「NOT CONNECTED」と表示されます。 ※ SYSTEM メニューの HDCP (P.63) が「ON」のときは、「HDCP MASKED」と表示され、USB STREAM 端子から映像／音声は出力されません。
CONNECTION RESET	EXEC	映像が乱れるなど動作が安定しないときに、パソコンと V-1-4K を再接続します。

4 : MIX/WIPE

メニュー項目	設定値	説明
MIX	ミックスの詳細を設定します。	
MIX TIME	0.0 ～ 4.0sec	映像の切り替え時間を設定します。
WIPE	ワイプの詳細を設定します。	
WIPE TYPE	ワイプの切り替えパターンを設定します。	
	HORIZONTAL VERTICAL UPPER LEFT UPPER RIGHT LOWER LEFT LOWER RIGHT	
	     	
WIPE TYPE	H-CENTER V-CENTER BOX	
	  	
WIPE TIME	0.0 ～ 4.0sec	映像の切り替え時間を設定します。
WIPE DIRECTION	NORMAL、REVERSE、ROUND TRIP	ワイプの方向を設定します。 ※ WIPE DIRECTION が「ROUND TRIP」で PANEL OPERATION (P.63) が「PGM/PST」の場合、[AUTO] ボタンを押したときのワイプの方向は、ビデオ・フェーダーの位置（上側または下側）によって決まります。

5 : PinP&KEY/SPLIT

メニュー項目	設定値	説明
PinP&KEY	PinP 合成やキー合成の詳細を設定します。	
TYPE	PinP 合成のタイプを設定します。	
	PinP	背景映像の上に子画面の映像を合成します。
	LUMINANCE-WHITE KEY	PinP とルミナンス・キー（白）の組み合わせです。 子画面映像の白い部分を透明にして、背景映像と合成します。
	LUMINANCE-BLACK KEY	PinP とルミナンス・キー（黒）の組み合わせです。 子画面映像の黒い部分を透明にして、背景映像と合成します。
	CHROMA KEY	PinP とクロマ・キーの組み合わせです。 子画面映像の指定したキー色部分を透明にして、背景映像と合成します。
TYPE = PinP のとき		
WINDOW	子画面を調節します。	
POSITION H	-50.0 ～ 50.0%	子画面の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ～ 50.0%	子画面の垂直方向の位置を調節します。
SIZE	0.0 ～ 100.0%	子画面のサイズを調節します。
CROPPING H	0.0 ～ 100.0%	子画面の水平方向のサイズを調節します。
CROPPING V	0.0 ～ 100.0%	子画面の垂直方向のサイズを調節します。
BORDER COLOR	WHITE、YELLOW、CYAN、GREEN、MAGENTA、RED、BLUE、BLACK、CUSTOM	子画面に付ける縁取りの色を設定します。
- EDIT	ENTER	カスタム・カラーを設定します。
BORDER WIDTH	0 ～ 14	子画面に付ける縁取りの幅を調節します。
VIEW	子画面に表示される映像を調節します。	
POSITION H	-50.0 ～ 50.0%	子画面映像の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ～ 50.0%	子画面映像の垂直方向の位置を調節します。
ZOOM	100 ～ 400%	子画面映像の拡大率を調節します。
TYPE = LUMINANCE-WHITE KEY、LUMINANCE-BLACK KEY のとき		
WINDOW	子画面を調節します。	
POSITION H	-50.0 ～ 50.0%	子画面の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ～ 50.0%	子画面の垂直方向の位置を調節します。
SIZE	0.0 ～ 100.0%	子画面のサイズを調節します。
CROPPING H	0.0 ～ 100.0%	子画面の水平方向のサイズを調節します。
CROPPING V	0.0 ～ 100.0%	子画面の垂直方向のサイズを調節します。
VIEW	子画面に表示される映像を調節します。	
POSITION H	-50.0 ～ 50.0%	子画面映像の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ～ 50.0%	子画面映像の垂直方向の位置を調節します。
ZOOM	100 ～ 400%	子画面映像の拡大率を調節します。
KEY LEVEL	0 ～ 255	キーの抜け具合（透過度）を調節します。
KEY GAIN	0 ～ 255	キーのエッジのぼかし具合（半透過領域）を調節します。

メニュー項目	設定値	説明
TYPE = CHROMA KEY のとき		
WINDOW	子画面を調節します。	
POSITION H	-50.0 ~ 50.0%	子画面の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ~ 50.0%	子画面の垂直方向の位置を調節します。
SIZE	0.0 ~ 100.0%	子画面のサイズを調節します。
CROPPING H	0.0 ~ 100.0%	子画面の水平方向のサイズを調節します。
CROPPING V	0.0 ~ 100.0%	子画面の垂直方向のサイズを調節します。
VIEW	子画面に表示される映像を調節します。	
POSITION H	-50.0 ~ 50.0%	子画面映像の水平方向の位置を調節します。
POSITION V	-50.0 ~ 50.0%	子画面映像の垂直方向の位置を調節します。
ZOOM	100 ~ 400%	子画面映像の拡大率を調節します。
KEY LEVEL	0 ~ 255	キーの抜け具合（透過度）を調節します。
KEY GAIN	0 ~ 255	キーのエッジのぼかし具合（半透過領域）を調節します。
CHROMA	クロマ・キーの詳細を設定します。	
COLOR	GREEN、BLUE	キー色（抜き色）を緑または青に設定します。
HUE WIDTH	-30 ~ 30	キー色の色相の幅を調節します。
HUE FINE	0 ~ 360	キー色の色相の中心位置を調節します。
SATURATION WIDTH	-128 ~ 127	キー色の彩度の幅を調節します。
SATURATION FINE	0 ~ 255	キー色の彩度の中心位置を調節します。
VALUE WIDTH	-128 ~ 127	キー色の明度の幅を調節します。
VALUE FINE	0 ~ 255	キー色の明度の中心位置を調節します。
SPLIT	スプリット合成の詳細を設定します。	
SPLIT TYPE	スプリットの画面レイアウトを設定します。	
	SPLIT V	映像の中央部を縦に切り出して合成します（左右分割）。 
	SPLIT H	映像の中央部を横に切り出して合成します（上下分割）。 
PGM/A CENTER	-50.0 ~ 50.0%	SPLIT V のとき 左側に配置された映像の水平方向の位置を調節します。 SPLIT H のとき 上側に配置された映像の垂直方向の位置を調節します。 ※ 左または上側には、PGM/A パスの映像が配置されます。
PST/B CENTER	-50.0 ~ 50.0%	SPLIT V のとき 右側に配置された映像の水平方向の位置を調節します。 SPLIT H のとき 下側に配置された映像の垂直方向の位置を調節します。 ※ 右または下側には、PST/B パスの映像が配置されます。
BORDER COLOR	WHITE、YELLOW、CYAN、GREEN、MAGENTA、RED、BLUE、BLACK、CUSTOM	境界線の色を設定します。
- EDIT	ENTER	カスタム・カラーを設定します。
BORDER WIDTH	0 ~ 14	境界線の幅を設定します。

6 : DSK

メニュー項目	設定値	説明
Roland FILL+KEY MODE = OFF のとき		
DSK SOURCE	HDMI 1 ～ 5、STILL 1 ～ 2、 INPUT 1 ～ 8	上に重ねるテロップや映像のソースを設定します。
TIME	0.0 ～ 4.0sec	DSK 合成のオン／オフにかかる時間を設定します。
DSK TYPE	DSK 合成（ルミナンス・キー）のタイプを設定します。	
	LUMINANCE-WHITE	明るさを基準にして、白い部分を透明にします。
	LUMINANCE-BLACK	明るさを基準にして、黒い部分を透明にします。
DSK LEVEL	0 ～ 255	キーの抜け具合（透過度）を調節します。
DSK GAIN	0 ～ 255	キーのエッジのぼかし具合（半透過領域）を調節します。
MIX LEVEL	0 ～ 255	キー全体の濃度（出力レベル）を調節します。
Roland FILL+KEY MODE = ON のとき		
DSK SOURCE	HDMI IN 5	「Roland Graphics Presenter」を使ったキー合成のため、設定値は固定です。
TIME	0.0 ～ 4.0sec	DSK 合成のオン／オフにかかる時間を設定します。

7 : ROI

メニュー項目	設定値	説明
MODE	OFF、ON	ROI 機能のオン／オフを設定します。 ROI 機能 ROI（Region of Interest）機能を使うと、たとえば 1 台の 4K カメラの映像から必要な領域を最大 4 つ（ROI 1 ～ 4）まで切り出し、入力映像として使うことができますようになります。
ROI 1 ～ 4	切り出す映像の領域を設定します。	
- ZOOM	100.0 ～ 400.0%	切り出す領域を、もとの映像に対する倍率（拡大率）で設定します。
- POSITION H	-1920 ～ 1920	切り出す映像の水平方向の位置を設定します。
- POSITION V	-1080 ～ 1080	切り出す映像の垂直方向の位置を設定します。

8 : AUDIO KNOB ASSIGN

メニュー項目	設定値	説明
AUDIO INPUT	[AUDIO IN] つまみに割り当てる音声入力を選びます。	
- INPUT KNOB AUDIO IN	AUDIO IN	AUDIO IN L、R 端子からの音声
	USB IN	USB STREAM 端子からの音声
	HDMI 1 ～ 5	INPUT 1 ～ 5 端子からの音声
AUDIO OUTPUT	[USB OUT]、[MAIN] つまみに割り当てる音声を選びます。	
- OUTPUT KNOB USB OUT - OUTPUT KNOB MAIN	MAIN BUS	MAIN バスの音声
	AUX 1 ～ 2 BUS	AUX 1 ～ 2 バスの音声
	USB OUT	USB STREAM 端子の音声

9: AUDIO INPUT

メニュー項目	設定値	説明
AUDIO IN	AUDIO IN L、R 端子から入力される音声を調節します。	
USB IN	USB STREAM 端子から入力される音声を調節します。	
HDMI IN 1 ～ 5	INPUT 1 ～ 5 端子から入力される音声を調節します。	
DIGITAL GAIN	-42.0 ～ 42.0dB	デジタル領域（アナログからデジタルに変換後）の入力ゲイン（感度）を調節します。
INPUT LEVEL	-INF ～ 10.0dB	入力音量を調節します。 [AUDIO IN] つまみで調節することもできます。
INPUT MUTE	OFF、ON	ミュート機能のオン/オフを設定します。「ON」にすると、一時的に入力音声を消音します。
MONO	入力音声をステレオからモノに変換します。	
	OFF	ステレオ入力された音声をそのまま送ります。
	L ONLY	L チャンネルの音声を L と R に送ります。
	R ONLY	R チャンネルの音声を L と R に送ります。
	LR MIX	L チャンネルと R チャンネルの音声をミックスして、L と R に送ります。
SOLO	OFF、ON	ソロ機能のオン/オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ～ 500.0msec (0.0 ～ 29.9frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。 ※ MONITOR バスの音声にも、効果がかけられます。
MAIN BUS		
- SEND	OFF、ON	「ON」にすると、MAIN バスへ音声を送ります。
AUX 1 BUS		
- SEND LEVEL	-INF ～ 10.0dB	AUX 1 バスへの送り量を調節します。
- SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
AUX 2 BUS		
- SEND LEVEL	-INF ～ 10.0dB	AUX 2 バスへの送り量を調節します。
- SEND POINT	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
HIGH PASS FILTER		
	OFF、ON	ハイパス・フィルターのオン/オフを設定します。 効果 不要な低域をカットします。
- FREQUENCY	20.0Hz ～ 1.00kHz	ハイパス・フィルターのカットオフ周波数を調節します。
NOISE GATE		
	OFF、ON	ノイズ・ゲートのオン/オフを設定します。 効果 設定したレベル以下の音声を除去します。残したい音声と取り除きたいノイズが分かれているときに有効で、無音時の「シャー」という音などを取り除くことができます。
- THRESHOLD	-80 ～ 0dB	音声を除去するときの基準レベルを設定します。スレッシュホールド以下の音声を除去します。
- RELEASE	30 ～ 5000msec	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに、音声が減衰しきるまでの時間を調節します。
COMPRESSOR		
	OFF、ON	コンプレッサーのオン/オフを設定します。 効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。
- THRESHOLD	-50 ～ 0dB	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。
- RATIO	1.00:1、1.12:1、1.25:1、1.40:1、 1.60:1、1.80:1、2.00:1、2.50:1、 3.20:1、4.00:1、5.60:1、8.00:1、 16.0:1、INF:1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
- ATTACK	0.0 ～ 100msec	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの圧縮を開始するまでにかける時間を設定します。
- RELEASE	30 ～ 5000msec	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに、圧縮をやめるまでの時間を調節します。
- MAKEUP GAIN	-40 ～ 40dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。
EQUALIZER		
	OFF、ON	イコライザーのオン/オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅/減衰させて、音質を調節します。
- Hi GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	高域を増幅/減衰します。
- Hi FREQUENCY	1.00 ～ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
- Hi-Mid GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	中高域を増幅/減衰します。

メニュー項目	設定値	説明
- Hi-Mid FREQUENCY	20.0Hz ~ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
- Hi-Mid Q	0.5 ~ 16.0	中高域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
- Lo-Mid GAIN	-12.0 ~ 12.0dB	中低域を増幅／減衰します。
- Lo-Mid FREQUENCY	20.0Hz ~ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
- Lo-Mid Q	0.5 ~ 16.0	中低域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
- Lo GAIN	-12.0 ~ 12.0dB	低域を増幅／減衰します。
- Lo FREQUENCY	20Hz ~ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

10: AUDIO OUTPUT

メニュー項目	設定値	説明
OUTPUT ASSIGN	各端子に割り当てる音声バスを設定します。	
AUDIO OUT	MAIN BUS、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS、MONITOR BUS	MAIN BUS： すべての入力音声をミックスして出力します（マスター出力）。 AUX 1 BUS、AUX 2 BUS： AUX バスに送られた入力音声だけをミックスして出力します。マスター出力とは異なる音声を出力することができます。 MONITOR BUS： ヘッドホンと同じ音声を出力します。
PHONES OUT/MONITOR	MAIN BUS、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS	
USB OUT	MAIN BUS、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS、MONITOR BUS	
HDMI OUT 1 ～ 5	MAIN BUS、AUX 1 BUS、AUX 2 BUS、MONITOR BUS	
MAIN BUS	MAIN BUS の音声を調節します。	
LEVEL	-INF ～ 10.0dB	出力音量を調節します。 [USB OUT]、[MAIN] つまみに MAIN BUS を割り当てて、出力音量を調節することもできます。
MUTE	OFF、ON	ミュート機能のオン／オフを設定します。「ON」にすると、一時的に出力音声を消音します。
SOLO	OFF、ON	ソロ機能のオン／オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ～ 500.0msec (0.0 ～ 29.9frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
EQUALIZER	OFF、ON	イコライザーのオン／オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
- Hi GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	高域を増幅／減衰します。
- Hi FREQUENCY	1.00 ～ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
- Hi-Mid GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	中高域を増幅／減衰します。
- Hi-Mid FREQUENCY	20.0Hz ～ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
- Hi-Mid Q	0.5 ～ 16.0	中高域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
- Lo-Mid GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	中低域を増幅／減衰します。
- Lo-Mid FREQUENCY	20.0Hz ～ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
- Lo-Mid Q	0.5 ～ 16.0	中低域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
- Lo GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	低域を増幅／減衰します。
- Lo FREQUENCY	20.0Hz ～ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
COMPRESSOR/LIMITER	OFF、ON	コンプレッサー／リミッターのオン／オフを設定します。
TYPE	コンプレッサー／リミッターのタイプを設定します。	
	COMPRESSOR	効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。
	LIMITER	効果 設定した基準レベルを超えないように出力音量を制限します。 ※ リミッターの許容範囲を超える音声が入力された場合は、音割れが発生します。
TYPE = COMPRESSOR のとき		
- THRESHOLD	-50 ～ 0dB	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。 スレッシュホルドを超えた音声に圧縮がかかります。
- RATIO	1.00:1、1.12:1、1.25:1、1.40:1、1.60:1、1.80:1、2.00:1、2.50:1、3.20:1、4.00:1、5.60:1、8.00:1、16.0:1、INF:1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
- ATTACK	0.0 ～ 100ms	スレッシュホルドを超える音声が入力されたときの圧縮を開始するまでにかかる時間を設定します。
- RELEASE	30 ～ 5000ms	音声がスレッシュホルドを下回ったあとに、圧縮をやめるまでの時間を調節します。
- MAKEUP GAIN	-40 ～ 40dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。

メニュー項目	設定値	説明
TYPE = LIMITER のとき		
– THRESHOLD	-40 ～ 0dB	リミッターがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。出力される音声の音量は、スレッシュホールド以下に制限されます。
GEQ	OFF、ON	グラフィック・イコライザーの設定をします。 効果 15 の帯域に分割された周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
– ALL FLAT	EXEC	イコライザーの設定をフラット (0.0dB) にします。
– 25Hz	-15.0 ～ +15.0dB	周波数帯域を増幅／減衰します。
– 40Hz		
– 63Hz		
– 100Hz		
– 160Hz		
– 250Hz		
– 400Hz		
– 630Hz		
– 1kHz		
– 1.6kHz		
– 2.5kHz		
– 4kHz		
– 6.3kHz		
– 10kHz		
– 16kHz		
AUX 1 BUS	AUX 1 バスの音声を調節します。	
AUX 2 BUS	AUX 2 バスの音声を調節します。	
LEVEL	-INF ～ 10.0dB	出力音量を調節します。 [USB OUT]、[MAIN] つまみに AUX 1、2BUS を割り当てて、出力音量を調節することもできます。
MUTE	OFF、ON	ミュート機能のオン／オフを設定します。「ON」にすると、一時的に出力音声を消音します。
SOLO	OFF、ON	ソロ機能のオン／オフを設定します。「ON」にした音声だけをヘッドホンで聴くことができます。 ※ ソロ機能は、ヘッドホン出力に対して有効です。ヘッドホン以外の出力には影響しません。
DELAY	0.0 ～ 500.0msec (0.0 ～ 29.9frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
AUX 1 BUS SEND LEVEL AUX 2 BUS SEND LEVEL	ENTER	AUX 1、2 バスへの送り量を調節します。
AUDIO IN USB IN HDMI IN 1 ～ 5	-INF ～ 10.0dB	各入力端子 (AUDIO IN L／R、USB STREAM、INPUT 1 ～ 5) から AUX 1、2 バスへの送り量を調節します。
AUX 1 BUS SEND POINT AUX 2 BUS SEND POINT	ENTER	AUX 1、2 バスへ送る音声にエフェクトをかけるかどうかを設定します。
AUDIO IN USB IN HDMI IN 1 ～ 5	DRY	エフェクトがかかっていない元の音声を送ります。
	PRE FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) に関係なく、送り量は一定です。
	POST FADER	エフェクトがかかった音声を送ります。 音量 (INPUT LEVEL) を調節することで、送り量を変更することができます。
EQUALIZER	OFF、ON	イコライザーのオン／オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
– Hi GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	高域を増幅／減衰します。
– Hi FREQUENCY	1.00 ～ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
– Hi-Mid GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	中高域を増幅／減衰します。
– Hi-Mid FREQUENCY	20.0Hz ～ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
– Hi-Mid Q	0.5 ～ 16.0	中高域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
– Lo-Mid GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	中低域を増幅／減衰します。
– Lo-Mid FREQUENCY	20.0Hz ～ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
– Lo-Mid Q	0.5 ～ 16.0	中低域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
– Lo GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	低域を増幅／減衰します。
– Lo FREQUENCY	20.0Hz ～ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

メニュー項目	設定値	説明
COMPRESSOR/LIMITER	OFF、ON	コンプレッサー／リミッターのオン／オフを設定します。
TYPE	コンプレッサー／リミッターのタイプを設定します。	
	COMPRESSOR	効果 設定したレベルを超えた音声を圧縮します。最大音量と最小音量の差が小さくなるため、音声が聞き取りやすくなります。
	LIMITER	効果 設定した基準レベルを超えないように出力音量を制限します。 ※ リミッターの許容範囲を超える音声が入力された場合は、音割れが発生します。
TYPE = COMPRESSOR のとき		
- THRESHOLD	-50 ～ 0dB	コンプレッサーがかかる基準レベルを設定します。 スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。
- RATIO	1.00:1、1.12:1、1.25:1、1.40:1、1.60:1、1.80:1、2.00:1、2.50:1、3.20:1、4.00:1、5.60:1、8.00:1、16.0:1、INF:1	音声に対して、どのくらいの圧縮をかけるかを設定します。圧縮していない状態を「1」と定義します。
- ATTACK	0.0 ～ 100ms	スレッシュホールドを超える音声が入力されたときの圧縮を開始するまでにかかる時間を設定します。
- RELEASE	30 ～ 5000ms	音声のスレッシュホールドを下回ったあとに、圧縮をやめるまでの時間を調節します。
- MAKEUP GAIN	-40 ～ 40dB	コンプレッサーをかけたあとの最終的な出力音量を調節します。
TYPE = LIMITER のとき		
- THRESHOLD	-40 ～ 0dB	リミッターがかかる基準レベルを設定します。スレッシュホールドを超えた音声に圧縮がかかります。 出力される音声の音量は、スレッシュホールド以下に制限されます。
GEQ	OFF、ON	グラフィック・イコライザーの設定をします。 効果 15 の帯域に分割された周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
- ALL FLAT	EXEC	イコライザーの設定をフラット (0.0dB) にします。
- 25Hz	-15.0 ～ +15.0dB	周波数帯域を増幅／減衰します。
- 40Hz		
- 63Hz		
- 100Hz		
- 160Hz		
- 250Hz		
- 400Hz		
- 630Hz		
- 1kHz		
- 1.6kHz		
- 2.5kHz		
- 4kHz		
- 6.3kHz		
- 10kHz		
- 16kHz		
PHONES OUT/MONITOR PHONES 端子からの出力音声、MONITOR バスの音声を調節します。		
PHONES LEVEL	-INF ～ 10.0dB	PHONES 端子からの出力音声を調節します。
MONITOR LEVEL	-INF ～ 10.0dB	モニター音量を調節します。
USB OUT USB STREAM 端子から出力される音声を調節します。		
LEVEL	-INF ～ 10.0dB	出力音量を調節します。 [USB OUT] [MAIN] つまみに MAIN BUS を割り当てて、出力音量を調節することもできます。
MUTE	OFF、ON	ミュート機能のオン／オフを設定します。「ON」にすると、一時的に出力音声を消音します。
DELAY	0.0 ～ 500.0msec (0.0 ～ 29.9frame)	音声の遅延時間を調節します。 効果 音声を遅らせて出力します。
EQUALIZER	OFF、ON	イコライザーのオン／オフを設定します。 効果 4 バンド・パラメトリック・イコライザーです。4 つの周波数帯域を増幅／減衰させて、音質を調節します。
- Hi GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	高域を増幅／減衰します。
- Hi FREQUENCY	1.00 ～ 20.0kHz	高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
- Hi-Mid GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	中高域を増幅／減衰します。
- Hi-Mid FREQUENCY	20.0Hz ～ 20.0kHz	中高域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
- Hi-Mid Q	0.5 ～ 16.0	中高域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
- Lo-Mid GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	中低域を増幅／減衰します。
- Lo-Mid FREQUENCY	20.0Hz ～ 20.0kHz	中低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。
- Lo-Mid Q	0.5 ～ 16.0	中低域を増幅／減衰させるときの帯域幅を調節します。
- Lo GAIN	-12.0 ～ 12.0dB	低域を増幅／減衰します。
- Lo FREQUENCY	20.0Hz ～ 2.00kHz	低域の音量を変化させるときの中心となる周波数を調節します。

11 : AUDIO FOLLOW

メニュー項目	設定値	説明
ALL AUDIO FOLLOW	OFF、ON	HDMI IN 1 ～ 5、AUDIO IN、USB IN のオーディオ・フォロー機能のオン／オフを一括で設定します。 オーディオ・フォローは、映像の切り替えに連動させて、音声の出力を自動的に切り替える機能です。
HDMI IN 1 ～ 5	各入力音声に対して、オーディオ・フォロー機能のオン／オフを設定します。	
	OFF	映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。
	ON	映像が選ばれたときのみ、音声を出力します。他の映像が選ばれたときは、自動的に消音します。
AUDIO IN	OFF、HDMI 1 ～ 5、STILL 1 ～ 2、 INPUT 1 ～ 8	各音声に対して、オーディオ・フォロー機能を使う映像を指定します。指定した映像が選ばれたときのみ、音声を出力します。
USB IN		「OFF」にすると、映像の選択に関係なく、常に音声を出力します。
DSK FOLLOW	OFF、ON	DSK が「ON」のときに、ソース映像とひも付いた音声を連動させるかどうかを設定します。

12 : AUDIO AUTO MIXING

メニュー項目	設定値	説明
AUDIO AUTO MIXING	OFF、ON	オート・ミキシング機能のオン／オフを設定します。 オート・ミキシングは、音量調節を自動的に制御する機能です。
- AUDIO IN	DISABLE、ENABLE	AUDIO IN L、R 端子からの入力音声に対して、オート・ミキシングの対象 (ENABLE) ／非対象 (DISABLE) を設定します。
- Weight	0 ～ 100%	ウェイト・レベル (音量配分の優先度) を設定します。 ※ ウェイト・レベルを「0」に設定すると、音声は出力されません。
- USB IN	DISABLE、ENABLE	USB STREAM 端子からの入力音声に対して、オート・ミキシングの対象 (ENABLE) ／非対象 (DISABLE) を設定します。
- WEIGHT	0 ～ 100%	ウェイト・レベル (音量配分の優先度) を設定します。 ※ ウェイト・レベルを「0」に設定すると、音声は出力されません。
- HDMI IN 1 ～ 5	DISABLE、ENABLE	INPUT 1 ～ 5 端子からの入力音声に対して、オート・ミキシングの対象 (ENABLE) ／非対象 (DISABLE) を設定します。
- WEIGHT	0 ～ 100%	ウェイト・レベル (音量配分の優先度) を設定します。 ※ ウェイト・レベルを「0」に設定すると、音声は出力されません。

13 : STILL IMAGE

メニュー項目	設定値	説明
LOAD STILL IMAGE	STILL 1、STILL 2	USB メモリーから静止画を読み込むときの、保存先の本体メモリーを指定します。 ※ 静止画が保存されている本体メモリーには、「*」マークが表示されます。
CAPTURE SAVE	DISABLE、ENABLE	入力映像から静止画をキャプチャーしたときに、本体メモリーに保存する (ENABLE) かしない (DISABLE) かを設定します。
DELETE STILL IMAGE	ALL、STILL 1、STILL 2	削除する静止画を選びます。 ※ 静止画が保存されている本体メモリーには、「*」マークが表示されます。

14: MEMORY

メニュー項目	設定値	説明
LOAD	1: (メモリー名) ~ 8: (メモリー名)	設定を呼び出すメモリーを指定します。
SAVE	1: (メモリー名) ~ 8: (メモリー名)	設定を保存するメモリーを指定します。
INITIALIZE	ALL、1: (メモリー名) ~ 8: (メモリー名)	設定を初期化するメモリーを指定します。
NAME EDIT	1: (メモリー名) ~ 8: (メモリー名)	名前を変更するメモリーを指定します。[VALUE] つまみを押すと、NAME EDIT 画面が表示されます。
START UP	起動時に呼び出す設定を指定します。	
	LAST MEMORY	電源を切る直前の状態に復帰します (ラスト・メモリー機能)。 現在の設定 (ラスト・メモリー) は、4 秒ごと、またはメニューを閉じるタイミングで保存されます。
	1: (メモリー名) ~ 8: (メモリー名)	指定したメモリーを呼び出します。
- PRIORITY	MEMORY、PANEL	メモリーとパネルの状態のどちらを優先させるかを設定します。
MEMORY PROTECT	OFF、ON	[ON] にすると、設定の保存や初期化の操作を禁止して、メモリーの内容を保護します。 ※ ファクトリー・リセット時は、保護されたメモリーの内容も消去されます。
LOAD FROM STORAGE	ENTER	USB メモリー内のメモリー設定ファイル (.V14Kpreset) を一覧表示します。 メモリー設定ファイルを選ぶと、本体にメモリー (1 ~ 8) を呼び出すことができます。
SAVE TO STORAGE	ENTER	USB メモリー内のメモリー設定ファイル (.V14Kpreset) を一覧表示します。 [NEW FILE...] を選んでファイル名を設定すると、新規メモリー設定ファイルとして保存されます。 既存の設定ファイルを選ぶと、上書き保存されます。
LOAD PARAMETER	メモリーを呼び出したときに、以下の項目を呼び出すかどうかを設定します。 [OFF] にした項目は、メモリーの呼び出しから除外されます。	
- VIDEO ASSIGN	OFF、ON	VIDEO ASSIGN メニュー
- VIDEO INPUT	OFF、ON	VIDEO INPUT メニュー
- VIDEO OUTPUT	OFF、ON	VIDEO OUTPUT メニュー
- TRANSITION TYPE	OFF、ON	[TRANSITION] ボタンの状態
- MIX/WIPE	OFF、ON	MIX/WIPE メニュー
- PinP&KEY	OFF、ON	[PinP & KEY] ボタンの状態
- SPLIT	OFF、ON	[SPLIT] ボタンの状態
- DSK	OFF、ON	DSK メニュー
- PGM/A、PST/B	OFF、ON	PGM/A バス、PST/B バス、映像切り替えの状態
- VIDEO FADER	INITIALIZE、ON	映像切り替えの状態 [INITIALIZE] にしたときは、ビデオ・フェーダーを上側または下側に振り切った状態になります。
- AUDIO KNOB ASSIGN	OFF、ON	AUDIO KNOB ASSIGN メニュー
- AUDIO INPUT	OFF、ON	AUDIO INPUT メニュー
- AUDIO OUTPUT	OFF、ON	AUDIO OUTPUT メニュー
- AUDIO FOLLOW	OFF、ON	AUDIO FOLLOW メニュー
- AUDIO AUTO MIXING	OFF、ON	AUDIO AUTO MIXING メニュー
- ROI MODE	OFF、ON	ROI モードの設定
- ROI SETTINGS	OFF、ON	ROI メニュー

15 : ASSIGNABLE PADS

メニュー項目	説明
BANK A ~ D	各バンクのパッド [1] ~ [8] に割り当てられている機能が表示されます。[VALUE] つまみを押すと、各パッドの設定画面に移動します。
PAD A-1 ~ D-8	

CATEGORY	FUNCTION	VALUE	説明
N/A	---	---	機能を割り当てません。
VIDEO	OUTPUT 3 ASSIGN	PROGRAM, PREVIEW, INPUT 1 ~ 8	OUTPUT 3 端子の出力映像を、指定した映像に切り替えます。
	OUTPUT 4 ASSIGN	PROGRAM, PREVIEW, INPUT 1 ~ 8	OUTPUT 4 端子の出力映像を、指定した映像に切り替えます。
	DSK SOURCE	HDMI IN 1 ~ 5, STILL 1 ~ 2, INPUT 1 ~ 8	DSK の映像ソースを、指定した映像に切り替えます。
AUDIO	INPUT MUTE	AUDIO IN, USB IN, HDMI IN 1 ~ 5	指定した入力音声のミュート機能をオン/オフします。
	OUTPUT MUTE	MAIN BUS, AUX 1 BUS, AUX 2 BUS, USB OUT	指定した出力音声のミュート機能をオン/オフします。
	INPUT SOLO	AUDIO IN, USB IN, HDMI IN 1 ~ 5	指定した入力音声のソロ機能をオン/オフします。
	OUTPUT SOLO	MAIN BUS, AUX 1 BUS, AUX 2 BUS	指定した出力音声のソロ機能をオン/オフします。
	HPF ON/OFF	AUDIO IN, USB IN, HDMI IN 1 ~ 5	指定した入力音声のハイパス・フィルタをオン/オフします。
	NOISE GATE	AUDIO IN, USB IN, HDMI IN 1 ~ 5	指定した入力音声のノイズ・ゲートをオン/オフします。
	INPUT COMPRESSOR	AUDIO IN, USB IN, HDMI IN 1 ~ 5	指定した入力音声のコンプレッサーをオン/オフします。
	INPUT EQUALIZER	AUDIO IN, USB IN, HDMI IN 1 ~ 5	指定した入力音声のイコライザーをオン/オフします。
	OUTPUT EQUALIZER	MAIN BUS, AUX 1 BUS, AUX 2 BUS, USB OUT	指定した出力音声のイコライザーをオン/オフします。
	OUTPUT GEQ	MAIN BUS, AUX 1 BUS, AUX 2 BUS	指定した出力音声のグラフィック・イコライザーをオン/オフします。
	AUTO MIXING ON/OFF	---	オート・ミキシングをオン/オフします。
	OUTPUT COMP/LIMIT	MAIN BUS, AUX 1 BUS, AUX 2 BUS	指定した出力音声のコンプレッサー／リミッターをオン/オフします。
MEMORY	---	MEMORY 1 ~ 8	パッドを押す： メモリーを呼び出します。 パッドを長押し： 現在の設定をメモリーに保存します。
AUTO SWITCHING	AUTO SWITCHING	---	オート・スイッチングをオン/オフします。
	INPUT SCAN	NORMAL REVERSE	パッドを押すたびに、最終出力を INPUT 1→8 の順に切り替えます。 パッドを押すたびに、最終出力を INPUT 8→1 の順に切り替えます。
CAMERA CONTROL	MODE	---	カメラ・コントロール・モードをオン/オフします。
	PAN	LEFT	カメラを左に向けます。
		RIGHT	カメラを右に向けます。
	TILT	DOWN	カメラを下に向けます。
		UP	カメラを上に向けます。
	ZOOM	WIDE (FAST)	パッドを押している間、高速でズーム・インします。
		WIDE (SLOW)	パッドを押している間、低速でズーム・インします。
		TELE (SLOW)	パッドを押している間、低速でズーム・アウトします。
		TELE (FAST)	パッドを押している間、高速でズーム・アウトします。
	FOCUS	NEAR	パッドを押している間、ピントを近くに合わせます。
		FAR	パッドを押している間、ピントを遠くに合わせます。
	AUTO FOCUS	---	オート・フォーカスをオン/オフします。
	AUTO EXPOSURE	---	自動露光をオン/オフします。
	PRESET RECALL	PRESET 1 ~ 100	指定したプリセットを呼び出します。
	CAMERA SELECT	CAMERA 1 ~ 5	操作対象のカメラを、指定したカメラに切り替えます。
SYSTEM	---	PANEL OPERATION A/B, PANEL OPERATION PGM/PST	映像切り替え時の操作モードを、指定した操作モードに切り替えます。

16 : Roland FILL + KEY

メニュー項目	設定値	説明
MODE	OFF、ON	Roland Fill + Key Mode をオン／オフします。

17 : AUTO SWITCHING

メニュー項目	設定値	説明
AUTO SWITCHING	OFF、ON	オート・スイッチング機能のオン／オフを設定します。 「ON」にすると、映像が自動的に切り替わります。
SCAN SEQUENCE	映像を表示する順番を設定します。 ※ 映像入力がない場合は、スキップされます。	
	NORMAL	INPUT 1→8 の順に切り替わります。
	REVERSE	INPUT 8→1 の順に切り替わります。
	RANDOM	ランダムに切り替わります。
SCAN TRANSITION TIME	0.0 ～ 4.0sec	映像の切り替え時間を設定します。
INPUT 1 ～ 8 TIME	OFF、1 ～ 120sec	映像の表示時間を設定します。「OFF」にすると、スキップされます。

18 : NETWORK

メニュー項目	設定値	説明
LAN SETUP	ENTER	LAN の設定をします。[VALUE] つまみを押すと、LAN SETUP 画面に移動します。
CONFIGURE	IP アドレス、サブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイの設定方法を選びます。	
	MANUAL	手動で設定します。
	USING DHCP	LAN 内の DHCP サーバーから、IP アドレスなどのネットワーク接続に必要な情報を自動取得します。
IP ADDRESS (*1)	---.---.---.---	接続するネットワークに従って、IP アドレスを設定します。
SUBNET MASK (*1)	---.---.---.---	接続するネットワークに従って、サブネット・マスクを設定します。
DEFAULT GATEWAY (*1)	---.---.---.---	接続するネットワークに従って、デフォルト・ゲートウェイを設定します。
USER NAME	表示のみ	ネットワーク接続に必要なユーザー名を表示します。
NETWORK PASSWORD	ENTER	NETWORK PASSWORD 画面を表示します。 ネットワーク接続に必要なパスワードを 8 桁で設定します。 パスワードの表示
		パスワード未設定
		パスワード設定済み *****
NETWORK STATUS	※ 同じネットワークに接続したパソコンなどから V-1-4K にアクセスするときに、ここで設定したパスワードの入力が必要です。	
	ENTER	NETWORK STATUS 画面を表示します。
	以下の情報を表示します。	
	項目	説明
	STATUS	接続状態
	IP ADDRESS	IP アドレス
	SUBNET MASK	サブネット・マスク
	DEFAULT GATEWAY	デフォルト・ゲートウェイ
	MAC ADDRESS	V-1-4K の MAC アドレス

(*1) CONFIGURE が「MANUAL」のときに設定することができます。

19 : CAMERA CONTROL

メニュー項目	設定値	説明
CAMERA ID	CAMERA 1 ～ 5	操作対象のカメラを選びます。
PROTOCOL	N/A、JVC、Panasonic、Canon PTZ、VISCA over IP、PTZOptics、Avonic	カメラのプロトコルを設定します。
IP ADDRESS	192.168.0.101	カメラの IP アドレスを入力します。
PORT	80	カメラのネットワーク・ポートを設定します。 PROTOCOL が「PTZOptics」「Avonic」のとき、ネットワーク・ポートを変更することができます。
LOGIN NAME	ENTER	CAMERA LOGIN NAME 画面を表示します。 PROTOCOL が「JVC」のとき、カメラと接続するために必要なログイン名を入力します。
PASSWORD	ENTER	CAMERAPASSWORD 画面を表示します。 PROTOCOL が「JVC」のとき、カメラと接続するために必要なパスワードを入力します。
CAMERA PRESET RECALL	PRESET 1 ～ 100	設定を呼び出すプリセットを選びます。
- ALL CAMERAS RECALL	OFF	操作対象のカメラからプリセットを呼び出します。
	ON	すべてのカメラ（CAMERA 1 ～ 5）からプリセットを同時に呼び出します。
CAMERA PRESET STORE	PRESET 1 ～ 100	[VALUE] つまみを押すと、カメラの設定を指定したプリセットに登録することができます。 ※ プリセットは、カメラ本体に保存されます。
PAN	カメラの水平方向の位置を調節します。設定値にカーソルがあるとき、カメラを操作することができます。	
	LEFT	[VALUE] つまみを押している間、カメラを左に向けます。
	RIGHT	[VALUE] つまみを押している間、カメラを右に向けます。
TILT	カメラの垂直方向の位置を調節します。設定値にカーソルがあるとき、カメラを操作することができます。	
	DOWN	[VALUE] つまみを押している間、カメラを下に向けます。
	UP	[VALUE] つまみを押している間、カメラを上に向けます。
SPEED	1 ～ 24	カメラの向きを変えるとき、速度を調節します。
ZOOM	カメラのズーム動作を設定します。設定値にカーソルがあるとき、カメラを操作することができます。	
	WIDE (FAST)	[VALUE] つまみを押している間、高速でズームアウトします。
	WIDE (SLOW)	[VALUE] つまみを押している間、低速でズームアウトします。
	TELE (SLOW)	[VALUE] つまみを押している間、低速でズームインします。
	TELE (FAST)	[VALUE] つまみを押している間、高速でズームインします。
FOCUS (*1)	カメラのピントを調節します。設定値にカーソルがあるとき、カメラを操作することができます。	
	NEAR	[VALUE] つまみを押している間、ピントを近くに合わせます。
	FAR	[VALUE] つまみを押している間、ピントを遠くに合わせます。
AUTO FOCUS	OFF、ON	オート・フォーカスのオン／オフを設定します。
AUTO EXPOSURE	OFF、ON	自動露出のオン／オフを設定します。
TALLY CH	HDMI 1 ～ 5	カメラの映像が入力されている端子を指定します。 V-1-4K からカメラの映像が最終出力されると、カメラのタリー・ランプが点灯します。

(*1) AUTO FOCUS が「OFF」のときに設定することができます。

20 : USB FLASH DRIVE

メニュー項目	設定値	説明
RESTORE ALL SETTINGS	ENTER	USB メモリー内の設定ファイル (.V14K) を一覧表示します。 設定ファイルを選べると、本体に設定をリストア（復元）することができます。現在の設定は、上書きされます。
BACKUP ALL SETTINGS	ENTER	USB メモリー内の設定ファイル (.V14K) を一覧表示します。 「NEW FILE...」を選んでファイル名を設定すると、新規設定ファイルとして保存されます。 既存の設定ファイルを選べると、上書き保存されます。 ※ 静止画 (STILL 1、2)、System メニューの「Test Pattern」や「Test Tone」など、一部の設定はファイルに保存されません。
FORMAT	EXEC	USB メモリーをフォーマットします。

21: SYSTEM

メニュー項目	設定値	説明
HDCP	HDCP の有効 (ON) / 無効 (OFF) を設定します。	
	OFF	著作権保護 (HDCP) された映像は入力できません。
	ON	著作権保護 (HDCP) された映像を入力できます。また、出力される映像に HDCP を付加します。 ※ USB STREAM 端子から映像 / 音声は出力されません。
SYSTEM FORMAT	システム・フォーマットを設定します。[VALUE] つまみを押すと、OUTPUT FORMAT 画面に移動します。	
SYSTEM FORMAT (*1)	2160p, 1080p	システム・フォーマットを設定します。
FRAME RATE (*1)	60, 59.94, 50, 30, 29.97, 25, 24, 23.98Hz	フレーム・レートを設定します。
COLOR GAMUT	REC.709, REC.2020	カラー・ガマット (色域) を設定します。
DYNAMIC RANGE	ダイナミック・レンジを設定します。	
	SDR	スタンダード・ダイナミック・レンジ
	HDR PQ	ハイ・ダイナミック・レンジ: PQ 方式
	HDR HLG	ハイ・ダイナミック・レンジ: HLG 方式
PANEL OPERATION	映像切り替えの操作モードを設定します。	
	A/B	ビデオ・フェーダーが倒れているバス側の映像を最終出力します。
	PGM/PST	常に PGM/A バス側の映像を最終出力します。PST/B バス側では、プレビュー出力映像 (次に出力される映像) を選びます。
CUT SW ASSIGN (*2)	[CUT] ボタンの機能を設定します。	
	▲AUTO TAKE	PST/B バスの映像が選ばれているときに、PGM/A バスの映像に切り替えます。 映像切り替え時間は、MIX/WIPE メニューの [WIPE TIME] [MIX TIME] で設定します。
	▲AUTO TAKE▼	PGM/A バスと PST/B バスの映像を切り替えます。 映像切り替え時間は、MIX/WIPE メニューの [WIPE TIME] [MIX TIME] で設定します。
	▲CUT	PST/B バスの映像が選ばれているときに、PGM/A バスの映像にカットで切り替えます。
	▲CUT▼	PGM/A バスと PST/B バスの映像をカットで切り替えます。
AUTO SW ASSIGN (*2)	[AUTO] ボタンの機能を設定します。	
	AUTO TAKE▼	PGM/A バスの映像が選ばれているときに、PST/B バスの映像に切り替えます。 映像切り替え時間は、MIX/WIPE メニューの [WIPE TIME] [MIX TIME] で設定します。
	▲AUTO TAKE▼	PGM/A バスと PST/B バスの映像を切り替えます。 映像切り替え時間は、MIX/WIPE メニューの [WIPE TIME] [MIX TIME] で設定します。
	CUT▼	PGM/A バスの映像が選ばれているときに、PST/B バスの映像にカットで切り替えます。
	▲CUT▼	PGM/A バスと PST/B バスの映像をカットで切り替えます。
AUDIO KNOB MODE	CATCH	つまみを操作したとき、フェーダーやつまみの位置とパラメーターの値が一致していない場合は、パラメーターの値と一致するまで操作が無視されます。 ※ 操作が無視されている間は、[MENU] ボタンまたは SIG/PEAK インジケーターが点滅します。つまみの位置がパラメーターの値に近づくほど点滅の周期が速くなります。
	DIRECT	つまみを操作したとき、該当するパラメーターの値を即座につまみの位置に合わせます。

(*1) 設定の変更は、[VALUE] つまみを押して確定するまで反映されません。

(*2) PANEL OPERATION が [A/B] のときに有効です。

PANEL LOCK	ENTER	[VALUE] つまみを押すと、PANEL LOCK 画面に移動します。 パネル・ロックの有効 (ON) / 無効 (OFF) を設定します。
------------	-------	--

メニュー項目	説明
ALL	すべての操作子
PGM/A ALL	PGM/A クロスポイント・ボタン全部
- PGM/A 1 ~ 8 BUTTON	PGM/A クロスポイント [1] ~ [8] ボタン
PST/B ALL	PST/B クロスポイント・ボタン全部
- PST/B 1 ~ 8 BUTTON	PST/B クロスポイント [1] ~ [8] ボタン
TRANSITION BUTTON	[TRANSITION] ボタン
CUT BUTTON	[CUT] ボタン
AUTO BUTTON	[AUTO] ボタン
VIDEO FADER	ビデオ・フェーダー
ASSIGNABLE PADS ALL	ASSIGNABLE PADS [1] ~ [8] 全部
ASSIGNABLE PAD BUTTON	[SELECT] ボタン
- BANK A ~ D BUTTON	ASSIGNABLE PADS の各バンク
PinP&KEY SPLIT ALL	[PinP & KEY] [SPLIT] ボタン両方
- PinP&KEY BUTTON	[PinP & KEY] ボタン
- SPLIT BUTTON	[SPLIT] ボタン
- CONTROL 1, 2 KNOB	[CONTROL 1], [CONTROL 2] つまみ

メニュー項目	説明
DSK ALL	DSK セクションのつまみとボタン全部
- LEVEL KNOB	DSK [LEVEL] つまみ
- GAIN KNOB	DSK [GAIN] つまみ
- PVW BUTTON	DSK [PVW] ボタン
- PGM BUTTON	DSK [PGM] ボタン
AUDIO MIXER ALL	AUDIO セクションのつまみ全部
- AUDIO IN KNOB	[AUDIO IN] つまみ
- USB OUT KNOB	[USB OUT] つまみ
- MAIN KNOB	[MAIN] つまみ
CAPTURE IMAGE BUTTON	[CAPTURE IMAGE] ボタン
OUTPUT FADE BUTTON	[OUTPUT FADE] ボタン

メニュー項目	設定値	説明
OUTPUT FADE	[OUTPUT FADE] ボタンの機能を設定します。	
- TIME	0.0 ~ 4.0sec	フェードイン／アウトにかかる時間を設定します。
- AUDIO FADE	ENABLE、DISABLE	[ENABLE] にすると、出力音声映像と同時にフェードイン／アウトします。
LED DIMMER	1 ~ 8	ボタンやインジケータが点灯したときの明るさを設定します。
MENU POSITION	LEFT、RIGHT	メニューが表示される位置を設定します。
TALLY FRAME	OFF、ON	マルチビューでのタリイ枠表示をオン／オフします。
PREVIEW LABEL	OFF、ON	マルチビューでのラベル表示をオン／オフします。
- LABEL EDIT	HDMI 1 ~ 5、STILL 1 ~ 2、PROGRAM、PREVIEW、BLACK、ROI 1 ~ 4	マルチビューに表示するラベル名を変更します。 変更するラベル名を選んで [VALUE] つまみを押すと、LABEL EDIT 画面が表示されます。
LABEL SIZE	SMALL、NORMAL	マルチビューに表示するラベル名の文字サイズを設定します。
MULTI-VIEW LAYOUT	マルチビューでの PVW セクションと PGM セクションの配置を設定します。	
	PVW/PGM	PVW セクションを左、PGM セクションを右に配置します。
	PGM/PVW	PGM セクションを左、PVW セクションを右に配置します。
TEST PATTERN	OFF、(COLOR BARS)	テスト・パターンの表示／非表示 (OFF) を設定します。
TEST TONE	テスト・トーンの設定をします。	
- LEVEL	OFF、-20、-10、0dB	テスト・トーンの音量を設定します。
- FREQUENCY L	500Hz、1kHz、2kHz	L チャンネルのテスト・トーンの周波数を設定します。
- FREQUENCY R	500Hz、1kHz、2kHz	R チャンネルのテスト・トーンの周波数を設定します。
VIDEO FADER CALIBRATE	ENTER	ビデオ・フェーダーのキャリブレーション (校正) をします。 [VALUE] つまみを押すと、VIDEO FADER SET 画面が表示されます。画面の指示に従ってビデオ・フェーダーを操作してください。
FACTORY RESET	EXEC	工場出荷時の状態に戻します。
VERSION	---	システム・プログラムのバージョンを表示します。

主な仕様

■ 映像							
映像処理	4：2：2（Y/Pb/Pr）、8ビット						
映像チャンネル数	5チャンネル						
入力映像フォーマット	HDMI IN 1～5 (INPUT 1～5 端子)	720/60p、59.94p、50p					
		1080/59.94i（*1）、50i（*1）					
		1080/60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p、24p、23.98p					
		2160/60p（*2）、59.94p（*2）、50p（*2）、30p、29.97p、25p、24p、23.98p					
		UXGA（1600×1200/60Hz）、WUXGA（1920×1200/60Hz）（*3）、WQHD（2560×1440/60Hz）（*3）					
		※ CEA-861-G、VESA CVT 準拠					
		※ HDMI IN 5はRoland FILL+KEY 信号に対応					
		※ 色域と輝度はシステム・フォーマットと同一					
（*1）インターレースで入力された映像は、本体内の処理でプログレッシブに変換されます。							
（*2）HDMI IN 1～3はYUV420 入力に対応							
（*3）Reduced Blanking							
出力映像フォーマット	HDMI OUT 1～2 (OUTPUT 1～2 端子)	システム・フォーマット設定	フレーム・レート設定				
			60Hz	59.94Hz	50Hz	30Hz	
		1080p	1080/60p	1080/59.94p	1080/50p	1080/30p	
		2160p	2160/60p	2160/59.94p	2160/50p	2160/30p	
		システム・フォーマット設定	フレーム・レート設定				
			29.97Hz	25Hz	24Hz	23.98Hz	
		1080p	1080/29.97p	1080/25p	1080/24p	1080/23.98p	
		2160p	2160/29.97p	2160/25p	2160/24p	2160/23.98p	
		HDMI OUT 3～4 (OUTPUT 3～4 端子)	システム・フォーマット設定	フレーム・レート設定			
				60Hz	59.94Hz	50Hz	30Hz
	1080p		1080/60p	1080/59.94p	1080/50p	1080/30p	
	2160p		2160/60p	2160/59.94p	2160/50p	2160/30p	
	2160p、かつダウン・コンバート設定時		1080/60p	1080/59.94p	1080/50p	1080/30p	
	システム・フォーマット設定		フレーム・レート設定				
			29.97Hz	25Hz	24Hz	23.98Hz	
	1080p		1080/29.97p	1080/25p	1080/24p	1080/23.98p	
	2160p		2160/29.97p	2160/25p	2160/24p	2160/23.98p	
	2160p、かつダウン・コンバート設定時		1080/29.97p	1080/25p	1080/24p	1080/23.98p	
	※ 色域：Rec.709、Rec.2020						
	※ 輝度：SDR、HDR PQ（HDR10）、HDR HLG						
※ HDMI OUT 3～4はシステム 2160p 時にダウン・コンバート出力（1080p）が可能							
※ CEA-861-G 準拠							
HDMI OUT 5 (MULTI-VIEW) (OUTPUT 5 端子)	1080/60p						
	※ 色域：Rec.709						
	※ 輝度：SDR						
	※ CEA-861-G 準拠						
USB STREAM	1080/60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p						
	2160/60p、59.94p、50p、30p、29.97p、25p						
	※ 非圧縮（YUY2）と圧縮（Motion JPEG）に対応						
静止画	Windows Bitmap ファイル（.bmp）最大 3840×2160 ピクセル、24 ビット・カラー、非圧縮						
	※ 最大 2 枚まで内蔵不揮発メモリーに記憶可能						
映像エフェクト	切り替え	カット、ミックス（ディゾルブ）、ワイプ（8 種類）、スプリット（2 種類）					
	合成	ピクチャー・イン・ピクチャー×1（四角型）、キー×1（ルミナンス・キー、クロマ・キー）、DSK（ルミナンス・キー、Roland FILL+KEY モード）					
	その他	マルチビュー（1 種類）、静止画キャプチャー、静止画再生、アウトプット・フェード（音声、映像：黒）、テスト・パターン出力					

■ 音声		
音声処理	サンプル・レート	24 ビット、48kHz
音声チャンネル数	14 チャンネル	
オーディオ・フォーマット	USB STREAM (入力/出力)	リニア PCM、24 ビット、48kHz、2ch
	HDMI IN (INPUT)	リニア PCM、24 ビット、48kHz、2ch
	HDMI OUT (OUTPUT)	リニア PCM、24 ビット、48kHz、8ch
オーディオ・エフェクト	チャンネル・エフェクト	ハイ・パス・フィルター、ノイズ・ゲート、コンプレッサー、4 バンド・イコライザー、ディレイ、オート・ミキシング
	マスター・エフェクト	4 バンド・イコライザー、コンプレッサー/リミッター、15 バンド GEQ、ディレイ
	その他	アウトプット・フェード、テスト・トーン出力
■ 共通部		
機能	メモリー (8 個)、パネル・ロック機能、EDID エミュレーター、オート・スイッチング、スマート・タリー、リモート・カメラ制御 (最大 5 台)	
■ オーディオ入出力規格		
規定入力レベル	AUDIO IN L、R	+4dBu (最大入力レベル: +24dBu)
入力インピーダンス	AUDIO IN L、R	16k Ω
規定出力レベル	AUDIO OUT L、R	-10dBu (最大出力レベル: +10dBu)
	PHONES	92mW + 92mW (32 Ω負荷時)
出力インピーダンス	AUDIO OUT L、R	1k Ω
	PHONES	10 Ω
■ 接続端子		
映像入力端子	HDMI IN 1 ～ 5 (INPUT 1 ～ 5 端子)	HDMI タイプ A × 5 (HDMI2.0)
		※ HDCP 1.4、2.2 対応 ※ マルチ・フォーマット対応
映像出力端子	HDMI OUT 1 ～ 4 (OUTPUT 1 ～ 4 端子)	HDMI タイプ A × 4 (HDMI2.0)
		※ HDCP 1.4、2.2 対応
	HDMI OUT 5 (OUTPUT 5 端子)	HDMI タイプ A (HDMI1.4)
		※ HDCP 1.4 対応
	USB STREAM	USB Type-C® (USB2.0 / USB3.2 Gen1)
音声入力端子	アナログ AUDIO IN L、R	XLR タイプ
	デジタル	USB STREAM
		USB Type-C®
音声出力端子	アナログ	HDMI IN 1 ～ 5 (INPUT 1 ～ 5 端子)
		HDMI タイプ A × 5
	デジタル	AUDIO OUT L、R
		PHONES
		ステレオ・ミニ・タイプ
	USB STREAM	USB Type-C®
その他の端子	USB HOST	USB A (USB メモリー用)
	USB STREAM	USB Type-C® (パソコンや iPad を接続してのリモート用)
	LAN 端子	RJ45 タイプ、100BASE-TX (外部制御用)
■ その他		
電源	AC アダプター	
消費電流	4A	
消費電力	52W	
動作温度	0 ～ +40℃	
外形寸法	330 (幅) × 164 (奥行) × 79 (高さ) mm	
質量	1.9kg (AC アダプターを除く)	
付属品	スタートアップ・ガイド、「安全上のご注意」チラシ、AC アダプター、電源コード、保証書	

※ 0dBu = 0.775Vrms

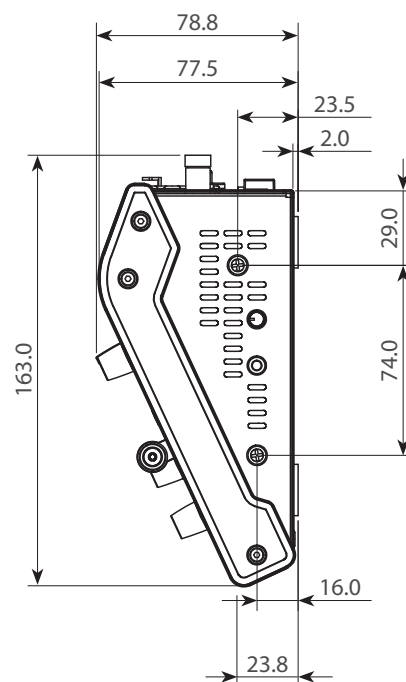
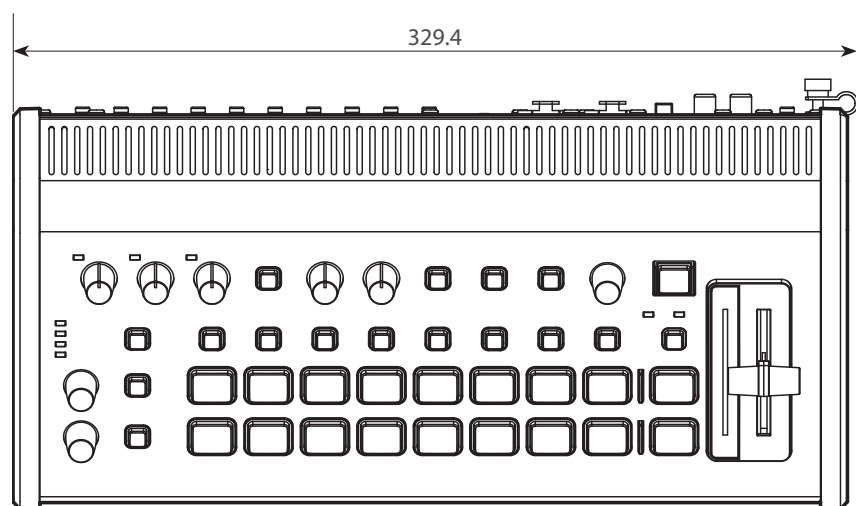
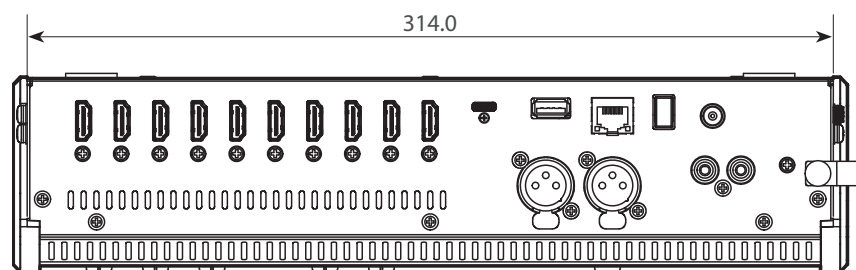
※ 本製品の電磁適合性規格は、FCC Part 15 Class A です。

※ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

外形寸法図

単位：mm





オーディオ・ブロック・ダイアグラム

